

人権啓発映像ソフト ライブラリー

- ★人権研修会等の教材として、映像ソフト(DVD)の利用を希望される方は、各所管にご連絡ください。
- ★人権推進多文化共生課（電話 740-1150 内線 2411） ★総合センター（電話 758-8398）
- 人権推進多文化共生課、総合センター両所管の教材につきましては、どちらかにご連絡いただき、貸し出すことができます。
- 利用期間は、原則として1週間を限度とします。
- 一度の貸し出し個数は、人権推進多文化共生課は3作品、総合センターでは2作品です。
- 新しい作品は赤字で表記しています。

◆人権啓発・教育映像ソフト一覧◆ 【令和6(2024)年4月現在】

No	タイトル	内容	ジャンル	所要時間(分)	所管
162	鬼の子とゆきうさぎ (アニメーション)	鬼の子と人間の女の子ユキとの不思議な友情の中から、私たちが忘れかけているやさしさや、思いやりの心、家族のぬくもりが温かい感動として伝わってくる。	人権全般	22	人権推進多文化共生課
165	風の人になりたい 岡本工介～アメリカ編～	ぶらぐ新世代シリーズ「グローバルに生きるVol.1」環境教育プランナー岡本工介の1ヶ月1万kmに及ぶアメリカの旅に密着し、子どもたちの教育に人生をかけることを決意する姿を描く。	人権全般	37	人権推進多文化共生課
166	こころに咲く花 ※字幕・副音声付き	いじめの構造の中で多数を占める傍観者、その観衆たちが一步を踏み出し、勇気をもって声を発すれば、必ずしはじめの解決につながるということを訴えかける。	人権全般	35	人権推進多文化共生課
167	夕映えのみち (インターネット社会における人権) ※字幕・副音声付き	わが子がインターネットを使って他人の人権を侵害したら・・・、逆にわが子がその被害者になり「いじめ」に遭ったら・・・。インターネット社会で、「どう生きるか」「人とどう関わるか」「社会とどうつながるか」を考え、「相手を思いやる」ことの大切さを見つめ直していく。	人権全般	38	総合センター
168	親愛なる、あなたへ ※字幕・副音声付き	地域社会の結びつきが弱まる中で起きている様々な人権問題。地域に関わる全ての人々が、同じ社会の構成員として、よりよい暮らしを実現する地域社会を創造していくためにはどうすればよいのか。一人ひとりの『気づき』こそが、互いに支え合う力が低下した地域の『再生』につながることを訴えるドラマ。	人権全般	37	人権推進多文化共生課
170	差別意識の解消に向けて (1)人権のまちづくり	今、同和地区内外の人たちが生活現場で手を取り合い、差別の解消に向けて、「人権のまちづくり」に取り組んでいる。差別や偏見を乗り越えながら、同和地区への忌避意識を解消していく、人権のまちづくりが展開されている。	人権全般	29	人権推進多文化共生課
171	「Jun&Keiの企業と人権」 部落地名総鑑事件30年企画 企業と人権シリーズ第1弾	企業にとって時代のキーワードは「人権・環境・安全」と言われます。しかし、「人権問題って、本当に必要な?」の声がまだまだ多いのが現実です。そんなニーズに真正面から応えた本作品は、「個人情報」「男性・女性」「障がい者」「外国人」「部落差別」、それぞれのテーマについての初級・入門編。	人権全般	30	総合センター
172	声を聞かせて (アニメーション)	携帯電話やインターネットに依存する子どもたちの問題点をわかりやすく描き、自然なストーリーで、人と人との絆や友情、命の大きさを訴える。	人権全般	40	総合センター
173	あの空の向こうに ※字幕・副音声付き	ケータイやインターネット等の利用にあたっての人権意識の重要性や、人と人とのふれ合い、語り合いの大切さを訴え、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと家庭の果たす役割にも気付かせる。	人権全般	38	人権推進多文化共生課
173	あの空の向こうに ※字幕・副音声付き	ケータイやインターネット等の利用にあたっての人権意識の重要性や、人と人とのふれ合い、語り合いの大切さを訴え、心の寄り添うようなコミュニケーションを図ることの大切さと家庭の果たす役割にも気付かせる。	人権全般	38	総合センター
174	職場の人権 一相手のきもちを考えるー ※日本語字幕付き	社員相談室・新人相談員の佐藤が、様々な職場で起こるトラブルや悩みに関連する事件によって、「相手のきもち」を考えることはどういうことなのかを理解していく過程をドラマ仕立てて描く。職場で身近に起こり得るパワハラやセクハラ、コミュニケーション不足が原因のトラブルを描くことで、そこにある意識のズレと問題点を提示していく。	人権全般	27	人権推進多文化共生課
175	おくりびと ※日本語字幕付き	楽団の解散でチェロ奏者の夢をあきらめ、故郷の山形に帰ってきた大悟(本木雅弘)は好条件の求人広告を見つける。面接に向かうと社長の佐々木(山崎努)に即採用されるが、業務内容は遺体を棺に収める仕事。当初は戸惑っていた大悟だったが、さまざまな境遇の別れと向き合ううちに、納棺師の仕事に誇りを見いだしてゆく。	人権全般	131	人権推進多文化共生課
176	クリームパン ◎兵庫県人権啓発ビデオ ※字幕・副音声付き	子どもへの虐待や若者の自殺など社会問題になっている事件を通して、社会や地域の中で孤立している人々に対する正しい理解を訴えるとともに、今一度、「いのち」について自分の問題として考えてもらうことを目的とする。	人権全般	36	人権推進多文化共生課
177	三年寝太郎 (アニメーション)	3年と3か月も寝てばかりいた若者が、水の乏しい村に幾山も越えた湖から水を引く決意する。初めは誰もが眺めるばかりであったが、やがて一人、二人が手伝い、ついには村中の人々が総出で水路をきり開く。人間として粗末にしてはならないお米と水の大切さも寝太郎は教えてくれる。	人権全般	40	総合センター
178	今、地域社会と職場の人権は! ※字幕版付き	この作品は、「高齢者の問題」「子育てする女性の問題」「パワハラ・セクハラの問題」「同和問題」に焦点をあて、研修が行いやすい4部構成になっている。	人権全般	36	総合センター
179	パパ、ママをぶたないで (アニメーション) ※日本語字幕付き	父親から母親への暴力に見かねた子どもの実話に基づき、アニメーションの技術駆使して、女性監督が6年かけて完成。各地の映画祭では「社会への大切なメッセージが込められ、語り口も魅力的」と高い評価を受けた。「アニメーションは人の心情を理解する優れた方法。同じ問題を抱える大人に見てもらい活用してほしい」と監督は語っている。	人権全般	20	総合センター
180	セクシュアル・マイノリティ理解のために ～子どもたちの学校生活とところを守る～	クラスに一人はいる「セクシュアル・マイノリティ」。今、LGBT当事者が、教師が語りだす、その学校生活とところ。	人権全般	56	総合センター
181	LGBTインタビュー もしも友だちがLGBTだったら	高校生の明日香は同級生の亜美と付き合いはじめて1年目。しかし小学校からの親友・真紀には自分が女の子が好きであることを言えないままだった。明日香は真紀にカミングアウトするのにか……。ドラマ終了後の当事者のメッセージも収録。	人権全般	67	総合センター
182	桃香の自由帳 ◎兵庫県人権啓発ビデオ(2011)	「人とのつながり」「きずな」を通して、一人ひとりが地域社会を担う一員であることを自覚し、人と人の助け合い、支え合いについて、自分の問題として考えていく。	人権全般	36	人権推進多文化共生課
183	あなたの偏見、わたしの差別 ～人権に気づく旅～	人権問題に興味を持つ若者4人が集まり、議論や意見を深めていく。少し視野を広げれば、身の周りに様々な人権問題があることに気付く。その「旅」へとつぎなう教材。	人権全般	30	総合センター
184	夢のまにまに	映画学校の学院長の木室は、学生の村上が何かと気にかかる。村上には60年前の戦争で多くの若者が死んだことへの苛立ちを木室にぶつけ、木室の妻・エミ子も戦争で自分だけ生き残ってしまったという自責の念にとらわれていた。やがて村上は精神病を患い自殺をほのめかし、何とか思いとどまらせようと木室は手を尽くすが……。 ディケイド設立30周年記念映画	人権全般	106	総合センター
185	ほんとの空 ◎兵庫県人権啓発ビデオ(2012)	近隣に高齢者や障がい者、外国人が多く住んでいることに不安とイライラを募らせる弓枝。ある日、息子に友だちができたのだが、彼は福島からの被災者だった…。誤った偏見に自分から気づくことの大切さを問う。	人権全般	36	人権推進多文化共生課
186	虹のきずな (アニメーション) ◎北九州市	大学生のひかりは図書館で絵本の読み聞かせボランティアをしているが、そこにはいつも独りぼっちでいる中国人の男の子がいた……。傍観者していることがいじめを助長することにもなりかねないことや人の気持ちに寄り添うことの大切さを訴えた立体アニメーション作品です。いじめを解決するための勇気ある一歩について考えさせてくれます。 主人公が絵本を読むと劇中劇となる構成であり、「絵本の劇中劇」のみを教材として用いることも可能な作品となっています。	人権全般	31	人権推進多文化共生課

187	虹色のビー玉 「偏見」失いかけた家族の絆	小さな家族の絆の再生を描くことで、身近にある偏見や差別に目を向けてもらい、人権への理解を深めるとともに、誰もが幸福に暮らす権利があることを訴えるドラマ。	人権全般	50	人権推進多文化共生課
188	いろんな性別 ～LGBTに聞いてみよう!～ 英題:What you should know about gender. (アニメーション)	【小学生向けDVD教材】小学生でも理解しやすいようにアニメーションと実写を取り混ぜた30分の映像。先生が知っておいてほしい情報満載の30分の映像も収録。 【収録作品】 1.はじめに「ゆうきからのお知らせとお願い」7分2.児童向け「いろんな性別～LGBTに聞いてみよう～」34分3.先生向け「特別授業:LGBTに聞いてみよう」30分	人権全般	71	総合センター
189	ヒーロー ◎兵庫県人権啓発ビデオ(2013) ※字幕・副音声付き	近年、社会から孤立する人が増えてきており、孤独死などが大きな社会問題となっている。家族や地域、職場でのつながり、つまりは血縁や地縁、社縁の希薄化によって引き起こされる問題である。こうした「無縁社会」と呼ばれる社会状況に対し、何ができるのかを提起する。また、「無縁社会」の中で、地域で起こる身近な人権課題に対し、傍観者としてではなく主体的に行動することで、新たな地域のつながりを結んでいく大切さを考える。	人権全般	34	人権推進多文化共生課
190	マザーズ ハンド ～お母さんの仕事～	家族における人権とは何か?差別とは何か?ある家族の姿を描くことで、身近にある偏見や差別に目を向け、人権への理解を深めるとともに、誰もが幸福に生きていく権利を持っていることを知ってもらうために製作された作品。	人権全般	19	人権推進多文化共生課
191	新・人権入門 ※字幕付き	企業における人権課題を16のショートドラマでわかりやすく解説。ドラマパートと、それを演じた俳優たちがそのシーンを振り返るパートの2部構成になっています。視聴者がドラマの出演者と同じよに学び、悩み、考えることのできる作品です。	人権全般	25	総合センター
192	みんな生きている	東日本大震災から三年が経過しました。多くの人が受けた心の傷…。時間の経過とともに、被災の記憶が風化されていく中、いま、心の見守り、手当は十分と言えるでしょうか。被災地に限らず、心に傷を抱えた人々、ケアする人々、すべての人々に求められる回復への問い。それは何なのか…。その問いから生まれた作品です。 三年が経過した被災地、福島県浜通りを舞台に心の回復と再生を描いた短編映画です。	人権全般	30	人権推進多文化共生課
193	イマジネーション 想う つながる 一歩ふみだす	いじめ問題、同和問題、発達障がいに関することを収録。まず「想像」すること、相手のことを知ること、想うこと。そこから人と人とがつながっていく。あなたは、イマジネーションでできていますか?	人権全般	34	人権推進多文化共生課
194	性的マイノリティと人権 あなたがあなたらしく生きるために (同じDVDが2本あります)	性的マイノリティについて、人権の視点で理解を深めるための作品。入門編として活用ください。 〈作品監修 宝塚大学看護学部教授 日高 庸晴〉	人権全般	34	人権推進多文化共生課
195	性的マイノリティと人権 あなたがあなたらしく生きるために	性的マイノリティについて、人権の視点で理解を深めるための作品。入門編として活用ください。 〈作品監修 宝塚大学看護学部教授 日高 庸晴〉	人権全般	34	総合センター
196	なぜ企業に人権啓発が必要なのか ※字幕付き	日常の会社生活の1コマを切り取ったわかりやすいドラマとして構成し、パワハラ、セクハラ、障害者、外国人、性別に対する差別や思い込み、公正採用選考と同和問題、それぞれの問題点と解決に対するヒントを提示している作品です。	人権全般	22	総合センター
197	すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～国際連合創設70周年記念	世界人権宣言と国際人権諸条約が自分達の身近にある人権とどのように関わっているかを国際的視点から考えるために、女性、子ども、障がいのある人、外国人の人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。	人権全般	35	人権推進多文化共生課
198	すべての人々の幸せを願って ～国際的視点から考える人権～国際連合創設70周年記念	世界人権宣言と国際人権諸条約が自分達の身近にある人権とどのように関わっているかを国際的視点から考えるために、女性、子ども、障がいのある人、外国人の人権課題とそれぞれに関連する条約を資料映像や写真、事例の再現ドラマなどで紹介しています。	人権全般	35	総合センター
199	カラフル Colorful	このビデオは、両親と人生の巣立ちの時を迎えた子どもたちの会話を通じて、家庭の中にある人権課題を取りあげる。 収録テーマは、他人の噂、子どもの結婚、多様性を認める社会へ、LGBT。	人権全般	31	人権推進多文化共生課
101-A	考えよう!ハラスメントvol.2 LGBTを知ろう	LGBTの人たちを取り巻く現状を理解し、職場や教育現場でどのように取り組んでいけばよいのかを、イラストやデータ、事例などを豊富に盛り込んでわかりやすく解説している作品です。	人権全般	20	総合センター
102-A	インターネットと人権 (加害者にも被害者にもならないために)	インターネットは、私たちの生活を豊かにするとともに欠かすことのできないものだ。本作品は、主に中高生やその保護者、教職員を対象に、インターネットを利用する上での危険性や、安全な利用方法・対策についてわかりやすくまとめたDVD。	人権全般	30	人権推進多文化共生課
103-A	わたしたちが伝えたい、大切なこと (アニメーション)	日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描く。全国中学生人権作文コンテスト入賞作品を原作とした、アニメーションの3本立て。	人権全般	31	人権推進多文化共生課
103-A	わたしたちが伝えたい、大切なこと (アニメーション)	日常生活の中で「人権」について理解を深めていった気付きのプロセスを描く。全国中学生人権作文コンテスト入賞作品を原作とした、アニメーションの3本立て。	人権全般	31	人権推進多文化共生課
104-A	光射す空へ (アニメーション)	若年性認知症、同和問題、セクシュアル・マイノリティの問題に触れながら、大学生たちの悩みと学びを通して、「正しい知識と理解」「多様性の受容と尊重」の大切さを描く。	人権全般	46	人権推進多文化共生課
105-A	コール&レスポンス ～ハラスメント～ ※字幕・副音声付き	ハラスメントを防ぐことは人権尊重の上で重要な課題です。そのためには十分なコミュニケーションを取ると同時に、相手が言いにくい立場にいる場合は、相手の心を十分に推し量り、思いを聞いてみる事が大切です。この作品では、職場におけるコミュニケーションの重要性を、「コール&レスポンス」というキーワードに仮託して考えていきます。	人権全般	24	人権推進多文化共生課
106-A	岸本誠の目からウロコのLGBT基礎講座 ※字幕付き	リアルな体験例を下に、LGBTの基礎から現状、さらには「これから」を分かりやすく丁寧に解説しています。いま、求められる最新・最適・最強のテキストです。	人権全般	32	人権推進多文化共生課
107-A	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ④ 誰もがその人らしく～LGBT～ ※字幕・副音声付き	上司の性的少数者を揶揄する発言やセクシャルハラスメントにつながる発言をきっかけに、主人公が、周りにいたけれども見えていなかったLGBT(性的少数者)の人たちについて理解を深めていく作品です。この作品は、4つのチャプターごとにドラマと振り返り解説が展開していく形で構成されています。	人権全般	20	総合センター
108-A	よっちゃんの不思議なクレヨン (アニメーション)	おはあちゃんから不思議なクレヨンもらったよっちゃん。そのクレヨンで絵を書くと、次々と描いたものが飛び出てきます。心の優しいよっちゃんは、描いた果物を欲しがる動物たちに渡してしまっています。自分の欲しいものを全部動物たちに渡してしまい、悲しくなったよっちゃんが、最後に残ったクレヨンで描いたものは…。	人権全般	22	総合センター
109-A	未来を拓く5つの扉 ～全国中学生人権作文コンテスト入賞作品朗読集～ ※字幕・副音声付き	全国中学生人権作文コンテストでは、次代を担う中学生が、身の周りで起きたいいろいろな出来事や自分の体験などから、人権について考えています。このビデオでは、入賞作品の中から5編の作文を朗読して、アニメーションやイラストで紹介しています。	人権全般	46	人権推進多文化共生課
110-A	企業と人権 職場からつくる人権尊重社会 ※字幕・副音声付き	近年、長時間労働による過労死、セクハラやパワハラなどのハラスメント、さらには様々な差別に関わる問題などが社会の注目を集めています。このDVDは、企業向けに実施する研修会等で活用しやすいように、ドラマや取材、解説も交えて構成しています。	人権全般	40	人権推進多文化共生課
111-A	わかっカフェへようこそ ※字幕・副音声付き	街の小さなカフェ「わかっカフェ」に集まる人々のエピソードをオムニバス形式で紹介。インターネットによる人権侵害・高齢者の人権・外国人の人権という3つの切り口から、身近な人権問題について考えることができる作品です。	人権全般	35	総合センター
112-A	君が、いるから ※兵庫県人権啓発ビデオ(2018)	自己肯定感の低い主人公がアルバイト先で出会う人々とのふれあいを通じて、新たな価値観に気づいていきます。子どもや若者が社会的に成長し自立していくために、人と人が関わり支え合いながら希望の種をまいていく、そんな社会の実現を目指す人権啓発ドラマです。	人権全般	33	人権推進多文化共生課
113-A	気づいて一歩ふみだすための人権シリーズ⑥ わからないから、確かめ合う ―コミュニケーション―	ハラスメントや差別的取り扱いなど、多くの日本企業が直面する可能性が高いテーマを中心に、それらに共通する解決策として、コミュニケーションを提示します。	人権全般	29	総合センター
114-A	はじめて学ぶLGBTs① 男らしい色?女らしい色? 低～中学年向け ※字幕・副音声付き	アニメーションにより描かれた色鉛筆と人間との物語を通して、思い込みや偏見に捉われることの無意味さ気づき、他者を尊重する姿勢を学びながら、多様性を肯定的に捉える感性の芽を育てます。	人権全般	12	総合センター 人権推進多文化共生課
115-A	知りたいあなたのこと 外見からわからない障害・病気を抱える人 ※多言語対応版	外見からはわからない障害や病気を抱えている人は多くいます。一見すると健康そうに見えるので、障害や病気が理解されず、辛い思いをすることもあります。この作品では、2人の難病患者さんと、てんかんや発達障害をもつ大学生を取材しました。当事者の方の話を通じて、私たちにできる配慮を共に考えていきます。	人権全般	21	総合センター

116-A	パパは女子高生だった! ～前田 良～	女性から男性へ性別転換し、結婚、その後二人の子をもつ父親となった前田良(37)。一審、二審で敗訴しながら、最高裁で勝訴、日本で初めて戸籍上で実子と認めさせた。	人権全般	28	人権推進多文化共生課
117-A	ハラスメント 見過ごしていませんか 性的少数者(LGBT)へのセクシュアルハラスメント	性について考えるとき、単純に「男性/女性」だけではなく、様々な切り口があります。男性だと思ふ人、女性だと思ふ人、中性だと思ふ人、性別は決めたくないという人など様々なあり方があります。性的マイノリティについても、決してひとくくりにはできません。本当に様々な「人生」があり、その問題もニーズも様々です。性的マイノリティの問題は、テレビの中の話でも外国の話でもありません。誰もがどこかで関わりがある、家族、親戚、友人、同僚の話なのです。このDVDでは、職場における性的少数者に対するセクシュアルハラスメントについて考えます。	人権全般	29	人権推進多文化共生課
118-A	カンパニユラの夢 ◎兵庫県人権啓発ビデオ(2020)	作品のテーマは、「超高齢化社会とひきこもり(8050問題)」です。近年、主に「80代」の高齢の親が「50代」のひきこもりが長期化した子を支えている家庭が増えています。「8050問題」とは、こうした家庭が地域社会との接点を失い、親子ともども生活が困窮するなどの課題を抱え、将来への展望が見いだせない超高齢化社会における新たな社会問題のことです。急速に高齢化が進む今、8050問題は誰にでも起こりうることに認識し、地域の人々がひきこもりなどの悩みを共有し偏見をなくするとともに、互いに助け合うことで地域共生社会の実現をめざす人権啓発ドラマです。	人権全般	36	人権推進多文化共生課
119-A	これが私の生きる道 ～仲間しゅん～ LGBTシリーズ	事務所内図書館～多様性を大切にしたい!本棚にはLGBTや部落問題の他、子どもの絵本、叶姉妹の写真集まで多彩に見よ!このしなやかさ～「先生」はイヤ、「しゅんちゃん」でいい。明け透けた気性に加えて美の探究者。柔軟な肉体は、しなやかな精神を表す。マイノリティの力に～弁護士になった理由は、周りのマイノリティ当事者たちの力になりたいと思ったこと、法律という戦うための武器を手に入れること。	人権全般	30	人権推進多文化共生課
120-A	シェアしてみたらかわかったこと ※字幕・副音声付き	東京のどこかにあるシェアハウス。ここには、年齢も社会的立場も異なる人たちが、同じ屋根の下暮らしている。上京して、期待を胸に入居したシェアハウス。そこに暮らしているのは、個性豊かな住人たち。この住人たちとの交流は戸惑いの連続だけど、時間、空間、思いをシェアして、初めて気づくこともある。私が、シェアしてみたらかわかったこと。	人権全般	46	人権推進多文化共生課
121-A	くうとしの 一あなたがそばにいて ※字幕付き	認知症の犬・しのと、介護猫・くうの、感動の実話をもとにした道徳・人権教育アニメーションです。もし、あなたの大切な人が認知症になってしまったら、あなたはその人に何をしてあげることができようか。年も離れていて、性別も違う犬と猫の関係性を通して、視聴した子供たちが自然と考える事ができる、心がほっこりする物語です。幼児・小学生向け道徳・人権教育アニメーション教材	人権全般	12	総合センター
122-A	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ①危機管理としての授業の必要性 ※バリアフリー字幕版選択可	学校におけるLGBTsの取り組みの必要性を喚起するとともに、当事者である児童生徒が傷つけないような実践や学校のあり方を提案する映像教材(文部科学省教育映像等審査選定作品)LGBTsの学齢期におけるいじめ被害、自傷行為の高さが国内外の研究で示されている中、教育現場は危機管理の一環としてこの問題を捉えることが重要です。本巻では、LGBTsに關する授業の実現を目指す教師の姿を通し、実践的な取り組みに繋がる様々なヒントをお伝えします。【監修】日高庸晴(宝塚大学看護学部教授)	人権全般	38	総合センター
123-A	はじめて学ぶLGBTs② 好きになってはいけない? ※バリアフリー字幕版選択可	同性を好きになった児童の物語を通して、恋愛感情のあり方は決して画一的なものではなく多様であることを学ぶ映像教材。自らの性的指向や性自認に気付く児童も少なからず存在する年代だからこそ、当事者児童の自尊感情を育めるように配慮しています。具体的な指導案を示す教員向け映像も収録。【監修】日高庸晴(宝塚大学看護学部教授) LGBTsのsは複数形の意味。	人権全般	22	総合センター
124-A	こんばんはII 夜間中学ドキュメンタリー映画	15年前に完成した森康行監督(68)のドキュメンタリー映画「こんばんは」(92分)の特別版。公立の夜間中学は現在、8都府県に31校しかないが、各地で新設が検討されている。支援者は「公立夜間中学を全国に増やす力にしたい」と意気込んでいる。【監督】森康行【ナレーター】大竹しのぶ【制作】夜間中学校と教育を語る会	人権全般	37	人権推進多文化共生課
125-A	夕焼け ◎兵庫県人権啓発ビデオ(2021) ※字幕・副音声付き	今回の作品のテーマは、「ケアラ～だれもが人権尊重される社会～」です。相手が家族や親しい人であっても、毎日誰かの介護や世話をすることは、身体的、精神的、さらに経済的にも大きな負担がかかります。特にヤングケアラは、学校に通い、教育を受け、友人と交流を通して成長する重要な時期であるにもかかわらず、その状況が周囲から見過されることが多いという問題があります。	人権全般	35	人権推進多文化共生課
126-A	映像で学ぶジェンダー入門 ①男らしさ/女らしさ —社会を覆うジェンダー・ステレオタイプ—	男らしさ、女らしさといった考え方は人の無意識に存在します。そうした考え方はしばしばステレオタイプ化し、多くの弊害をもたらします。「スーツ男子」といった言葉の裏にどのような性別の固定観念が潜んでいるのか、また、教育の場においてそうした固定観念はどのような影響をもたらしているのか、ジェンダー・ステレオタイプを取り巻く多くの事例について考えます。また、フェミニズムやバックラッシュといったジェンダーを考えるうえで重要な事柄についても学びながら、様々な事例から身近なところにひそむ性別役割規範について考え、現代の社会における課題について考えます。	人権全般	約40分	人権推進多文化共生課
127-A	映像で学ぶジェンダー入門 ②多様な「性」	ひとに「性」と言ってもそのあり方は非常に多様です。日本の社会において、「男」か「女」いずれかの性別に割り振られ生活することが前提となっています。この巻では性自認、性役割、性的指向といったジェンダー学における「性」の考え方について学び、性のあり方の多面性について様々な事例をもとに考えます。また、LGBTをはじめとした性的マイノリティの存在、その当事者の抱える生きにくさなどの様々な問題についても触れ、多様な「性」を認める社会を作るうえで直面する多くの課題について考えます。	人権全般	約40分	人権推進多文化共生課
128-A	君が笑っていた —ソーシャルディスタンスの罫—	新型コロナウイルス感染症は、感染者、その家族・親族や、病院関係者への誹謗中傷・差別を生み出しました。単身・シングルマザー・世帯などすでに経済的に逼迫していた人々に加え、現実一般世帯の人々をも厳しい生活状況へ追い込んでいます。本作は、急激に姿を変えようとする社会の現象を通じ、差別やいじめのない社会とは何かを語り合う作品です。全編視聴と前編「問題提起」、後編「解決へ向けて」各10分程度の視聴が選べます。	人権全般	23分	人権推進多文化共生課
129-A	ずっと助けてと叫んでいた 人権啓発ドキュメンタリーDVD ほしおか十色三の手記と支援者の証言で知る性的虐待被害者の苦悩	第1部 ずっと助けてと叫んでいた(37分) プロローグ ほしおか虹色 1.家庭内性的虐待 2.自傷行為と依存症 3.性暴力被害者と性ビジネス 4.母の死と薬物依存 5.回復への長い道 エピローグ 第2部 助けてと言えない子どもたちのために(26分)	人権全般	63分	人権推進多文化共生課
130-A	スマホは情報モラルが大切 1巻 ネットいじめをしない!SNSでの出会いに気を付けよう	1巻「ネットいじめ」「SNSでの出会い」、ドラマ編と解説編で構成。視聴した生徒が、ドラマ中の出来事自分だったらどうするかと考え、情報モラルが育成されることを狙っています。多くの中学生・高校生が、スマホを使ってSNSを利用しています。SNSは他人とコミュニケーションをとるのに大変便利で、上手に使えば人生を豊かにし、社会を良い方向に変える力を持っています。反面、正しく使用しないと相手を傷つけたり、自分の身に危害が及ぶこともあります。SNSを利用するには、情報モラルを身につけ、よく考えた上でメッセージや写真や動画を投稿することが何よりも大切なことです。	人権全般	25分	総合センター
131-A	スマホは情報モラルが大切! 2巻 もう一度よく考えよう!写真や動画の投稿	多くの中学生・高校生が、スマホを使ってSNSを利用しています。SNSは他人ともコミュニケーションをとるのに大変便利で、上手に使えば人生を豊かにし、社会をよい方向に変える力を持っています。反面、正しく使用しないと相手を傷つけたり、自分の身に危害が及ぶこともあります。SNSを利用するには、情報モラルを身につけ、よく考えた上でメッセージや写真や動画を投稿することが何よりも大切なことです。ここでは、「個人情報流出」「炎上」をテーマにしています。	人権全般	18	総合センター
132-A	Voise!! 人権の教室 ※字幕・副音声付き	舞台は、休日の学校で開かれる「人権の教室」。招待状で招かれた3人の中学生・高校生が「声」を手がかりに3つのテーマについて学んでいきます。〈オリンピック・パラリンピックの人権〉〈北朝鮮による拉致問題〉〈子どもの人権(いじめ問題)〉	人権全般	38	総合センター
133-A	パースデイ ◎兵庫県人権啓発ビデオ(2022) ※字幕・副音声付き	「性の多様性を認め合う～誰もが自分らしく生きられる社会をめざして～」この物語の主人公・美由紀は、娘だと思ってきた笑花(尊)から自認する性が男性であることを告げられ、激しく動揺します。親としての感情ゆえに、はじめは拒絶する美由紀ですが、周囲の人々との交流などにより、性の多様性について少しずつ理解が進み、自分らしく生きようとする我が子の苦悩や願いに気づき、向き合っていくこととなります。	人権全般	37	人権推進多文化共生課

134-A	アンコンシャス・バイアスをなくそう 無意識の偏見のない誰もが安心して働ける職場をめざして	アンコンシャス・バイアスとは、「無意識の偏見、思い込み」のことです。近年、多様性の理解を進め、ハラスメント防止に欠かせないキーワードとして注目されています。本作品は、一般向けにアンコンシャス・バイアスを取り除くためにできることは何か、そのポイント等について紹介しています。	人権全般	33	人権推進多文化共生課
135-A	「レインボーストーリーズ」LGBTと社会 ①職場 ～声に出せないハラスメント～ 「レインボーストーリーズ」LGBTと社会(全4巻のうちの2巻)	社会人が生活の中で多くの時間を過ごす職場。ここでは無自覚に発せられる言葉がLGBTs当事者を傷つけ、勤労意欲を低下させたり、メンタルヘルスを悪化させる原因にもなります。そうしたハラスメントをはじめ、トランスジェンダーが直面する就職活動の困難や情報管理の甘さから起ころうする無自覚なアウトティング、制服規程や同性パートナーを認める社内規程整備の必要性など、職場で起こりうる様々な事例を描き、その課題に取り組むためのヒントを示します。	人権全般	約25	人権推進多文化共生課
136-A	「レインボーストーリーズ」LGBTと社会 ②家族 ～自分の子どもが当事者だったら～ 「レインボーストーリーズ」LGBTと社会	同じ家に住み生活を共にする家族。最も近い存在だからこそ、本当のことが言えず苦しんでいるLGBTsの人々は数多くいます。子どもからカミングアウトを受けた場合、親は前向きに受け入れられるのか。この明暗を分けるのは、わが子との関係性、性的指向や性自認の多様性への理解、そしてLGBTsが身近に存在するというリアリティではないでしょうか。本巻では、性の多様性に関して実感を持った理解がない親が、ゲイである青年期の息子を追い詰めてしまう様子、親子が葛藤しながら関係を再構築する姿を描きます。	人権全般	約21	人権推進多文化共生課
137-A	「レインボーストーリーズ」 LGBTと医療 ①患者とのコミュニケーション 「レインボーストーリーズ」LGBTと医療	医療や看護に携わる専門家にも性の多様性への理解が求められますが、LGBTsのいずれかであることが明確にわかったうえで診療経験はない、という医療従事者も多くおられるでしょう。本来、性的指向や性自認をカミングアウトするかしないかを決めるのはご本人の意思によるものですが、医療現場ではそういったプライベートな情報に接することも少なからずあり、医療従事者ひとりひとりが性の多様性について正しい知識と認識を持った上で、専門職として患者と接することが求められます。 この巻では同性愛者や性別違和を持つ患者とのコミュニケーションにおける注意点をドラマで描きます。先輩看護師とのOJT(On the Job Training)のドラマを通して、無自覚に発せられた言葉が相手を傷つけていないかを考えます。	人権全般	約21	人権推進多文化共生課
138-A	今企業に求められる「ビジネスと人権」への対応 ロングバージョン(35分52秒) ショートバージョン(13分27秒) (同じビデオが3本あります)	今、企業は自社事業に関わる全ての従業員はもちろん、ステークホルダーと呼ばれる取引先の従業員や顧客、消費者、地域住民など、事業に関わる全ての人の人権を尊重する事が求められています。 本DVDでは、法務省人権擁護局と公益財団法人人権教育啓発推進センターが制作した「ビジネスと人権に関する調査研究」報告書に基づき、企業が「ビジネスと人権」に関する取り組みを進めるに当たり、参考となる情報をドラマやCG、ナビゲーターによる解説などで分かりやすく紹介しています。	人権全般	L約35 S約12	人権推進多文化共生課
139-A	言葉があるから… —無自覚の差別「マイクロアグレッション」— ※字幕・副音声付き	あからさまな差別表現でなくても、無自覚に相手の尊厳を傷つけている言動のことを指す「マイクロアグレッション(小さな攻撃性)」。その言動の背景には、国籍や人種、性別、性的指向など、特定の属性の人たちへの軽視や偏見が隠れていることがあります。 自覚なく加害者にならないために……、属性にとらわれずに、ありのままのその人と向き合うことの大切さを、このドラマでは描いています。職場や家庭内で「人権」について話し合うきっかけとしてお役立てください。解説書・ワークシートあり	人権全般	31	人権推進多文化共生課 総合センター
140-A	ハラスメントの裏に潜む無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス) 職場のコミュニケーション向上のヒント ※字幕・副音声付き	「アンコンシャス・バイアス」とは、無意識の偏見や思い込みのこと、日常の何気ない言動の中にも表れ、職場ではハラスメントにつながってしまうこともあります。しかし、アンコンシャス・バイアスは誰もが持っている、完全になくせるものではありません。大切なことは、「自分にもアンコンシャス・バイアスがあるはず」と意識してコミュニケーションを行うことです。この教材は、登場人物の視点や立場が変化することで無意識の偏見を見える化し、どのようにバイアスと向き合っていくかを自分ごととして考えることができる内容になっています。自覚なくハラスメントの加害者にならないため…	人権全般	24	人権推進多文化共生課
141-A	一瞬の雨 文化庁助成ARTS of Future! 選定作品	新型コロナウイルス感染拡大前からあった、非正規雇用や母子家庭、単身世帯の生活苦は、コロナ感染拡大によって、さらに厳しさを増しました。そして、緊急事態宣言が解除されたいま、その厳しさは一部強くなる人々の生活を追い詰めています。コロナ禍によってかえって豊かになった人々、コロナの枠を耐え、急速に回復へ向かう人々。その一方で、長くコロナ禍にもはや耐え切れず、社会の枠組みから切り離れていく人々もいます。本作品は、救済を求めることへの抵抗や恥ずかしさをつけているものを、何なのかをみつめ、だれもが幸せになる当然の権利があることを改めて考える映画です。	人権全般	28	総合センター
204	音次郎の庭 ※DVD	室町時代、庭づくりの技をうけついでいた庭者は、山水河原者(せんずいかわらもの)とも呼ばれ、さげすまれていた。しかし、日本の伝統文化はこのような下積みの民衆が差別と闘いながら創造し、必死で支えてきた。このことを山水河原者音次郎の京都龍安寺石庭づくりに仮託して描き、文化・人権について考える。	部落問題	51	人権推進多文化共生課
204	音次郎の庭 ※DVD	室町時代、庭づくりの技をうけついでいた庭者は、山水河原者(せんずいかわらもの)とも呼ばれ、さげすまれていた。しかし、日本の伝統文化はこのような下積みの民衆が差別と闘いながら創造し、必死で支えてきた。このことを山水河原者音次郎の京都龍安寺石庭づくりに仮託して描き、文化・人権について考える。	部落問題	51	総合センター
273	おじいちゃんは丹波杜氏(アニメーション) ※解説CDとセット	被差別地区の人に対しては堅く門が閉ざされていた酒造現場。この不合理を解決するために働きかけが行われ、ある青年が就労できることになった。この物語は、青年の実体験を基に、酒造りに関わる多くの人の願いや努力を語り継いでいこうという想いを込めて制作した人権学習教材。	部落問題	17	総合センター
275	同和問題と人権 —あなたはどうか考えますか—(アニメーション)	同和問題とは一体どのような問題なのか、どうしてこのような問題が存在し、何故なくなるのか。同和問題を正しく理解し、同和問題を解決するためにはどうすればよいのか。	部落問題	28	人権推進多文化共生課
276	部落の心を伝えたい シリーズ第11巻 あすなるを生きる —野上早苗— ※字幕版付き	40年以上も続く福岡の「あすなる解放学級」。今も地区内外から毎週大勢の人たちが集い、学び合い、話し合い、笑い、涙する。[生いたち] あすなる解放学級で20年以上に亘り代表を務める野上早苗さん。20歳のときに受けた結婚差別が、解放運動への目覚めとなりました。[あすなる]との出会い]きっかけは、読み書きのできなかった母親の勧めでした。若い母親たちもやがて次々と仲間に加わり始めました。 願いはひとつ。何のためらいもなく子供たちに故郷を名のらせたい。[誰もが生まれてきてよかったと思える社会を]部落差別から出発し、今ここにある様々な人権問題と向き合う。野上さんは、差別は突然やってくると言います。その時、どう行動するか。一人ひとりに問われています。[後継者問題]野上さんから代表を引き継ぐ覚悟を決めている野中けい子さん。仲間の強いつながりを支えに、あすなるの歴史は受け継がれていきます。	部落問題	26	総合センター
277	部落の心を伝えた シリーズ第12巻 若い力は今 —吉岡綾— ※字幕版付き	付き合っている恋人から差別的なことを言われ、即座に言い返すことができなかった自ら差別体験を通して、「差別をなくす人生」を生きる吉岡綾さん。若さ溢れる熱く力強い語りは、行政・企業・学校で大きな反響を呼んでいる。	部落問題	30	総合センター
278	部落の心を伝えたい シリーズ第13巻 母娘で問うた部落差別 —坂田かおり・愛梨・瑠梨— ※字幕版付き	鳥取県米子市を拠点に西日本で幅広く活動する母娘講演が今、大きな反響を呼んでいる。実体験を下に、部落差別をはじめあらゆる差別にNO!を	部落問題	30	総合センター
279	部落の心を伝えたい シリーズ第14巻 人権感覚を磨きませんか —大湾昇— ※字幕版付き	沖縄出身の父と部落出身の母の下、徳島県で生まれ育った大湾さん。心理テストや自筆の漫画を使ったユニークでユーモラスな講演が人権問題を分かり易く説き起こす。	部落問題	30	総合センター
280	部落の心を伝えたい シリーズ第15巻 夫婦で差別と闘います! —石井真澄・千晶— ※字幕版付き	部落出身の妻と部落外の夫とは結婚差別を契機に講演活動を始めた。異なる立場からの夫婦講演が差別の実態を重層的に暴いていく。 [夫婦で講演]結婚して3年。部落出身の妻と部落外の夫は講演活動を始めた。異なる立場からの二人の講演は部落差別の実態を重層的に暴いていく。[結婚差別と支えた人たち]二人の結婚を祝福した人、応援した人、そして悩んだ親たち…赤裸々に語られる差別心とは?結婚差別の実体験にも二人は踏み込んでいく。[子ども達のロールモデルとして]差別は人と人とのつながりだけでなく、自分の可能性も断ち切ってしまう—そんな思いをもつ高校生達が企画した交流集会で、二人は語った。	部落問題	30	総合センター

281	差別意識の解消に向けて 土地差別問題を考える ※DVD	大阪府内で実際にあった宅地建物取引での差別事象をドラマで再現。住民や業者から、購入予定の不動産の所在地が同和地区かどうかの問合せを受けたときの対応例を紹介し、行政職員として、どのように対応すべきかを、自分自身の問題として考えさせる。	部 落 問 題	24	人権推進多文化共生課
282	部落の心を伝えたい シリーズ第17巻 仕事作りが私の仕事 一植並鈴枝(うなみすずえ)－ ※字幕版付き	10代～中学3年での父の死。以後、学業と仕事を両立させ、あらゆる働く現場を体験。それが現在の仕事＝就労支援に結びついた。30代～4年の子育てで芽生えた社会とのつながり。様々な資格を取得。20年前、C-STEPの前身(社)同和地区人材雇用開発センターに就職。40代～解放運動に生きた父の口癖は「仕事保障」働くことで社会とつながる。就職困難者の就労支援を通し人権確立の社会作りを担う。	部 落 問 題	25	総合センター
283	調べられた土地 避けられた地域 －土地差別調査の根絶に向けて	土地差別調査が差別が差別を生み出す再生産のシステムとして機能してきたことを重視し、その根絶に向けた啓発教材として制作。調査会社や広告代理店、宅建業者でのやりとりをもとにイメージ再現。	部 落 問 題	20	総合センター
284	部落の心を伝えたい シリーズ第18巻 無知を許さず～連続大量差別はがき事件～ 一浦本誓至史－ ※字幕版付き	実際に体験した差別事件の真相を探りながら、研究者として江戸の被差別民衆から学ぶ浦本さん。同和問題をはじめとするあらゆる人権問題は「無知」に起因することを具体的に解説する。[誇りをかけた闘い]当事者として地獄の苦しみを味わった経験から掴んだ真実を語り続ける。二度と同じ事件が起きない事を願って。[江戸の被差別民衆から学ぶ]関西と関東では異なる部落の歴史に着目。過去の対話を通して、現代社会に鋭い問題提起を行う「闘う研究者」の姿。[キーワードは「無知」]同和問題を始めとするあらゆる人権問題は「無知」に起因することを具体的に解説。差別解消の道は「啓発活動にあり」と説く。	部 落 問 題	30	総合センター
285	部落の心を伝えたい シリーズ第19巻 差別を許さない自分づくり ～寝た子を起こして30年～ 一長谷川サナエー ※字幕版付き	部落差別への解放運動を長年行ってきた長谷川が「寝た子を起こすな」の風潮の中で、講演活動や被部落差別の伝統芸能の復活などを追った。[解放運動30年]1981年の支部結成時から解放運動一筋に生きてきた長谷川さん(66)先祖の差別戒名を心に刻みながら部落差別と闘う。[新潟で唯一の隣保館]15年前、長谷川さん達が中心となり隣保館を立ち上げた。地区の内外をつなぐ大切な拠点となっている。[寝た子を起こす]「寝た子を起こすな」の風潮は根強く残る。66歳の今も、講演活動や被差別民衆の伝統芸能の復活など、活動は多岐に亘る。	部 落 問 題	26	総合センター
286	部落の心を伝えたい シリーズ第20巻 52歳の立場宣言 ～なかがまがいれば人は変わる～ 一岡潤爾(おかじゅんじ)－ ※字幕版付き	皮剥き職人として、多くの差別事件を体験した岡が「本気で語り、共感し、本気で動く」信念を世に伝えていく作品。 [皮剥き職人の誇り]「ケモノの皮剥く報酬として…」水平社宣言の一節を生きてきた岡さんが体験した多くの差別事件から学ぶべきものは?「人権ファミリー」"矢は矢で"返してきた岡さんの解放運動が大きく変わったのは本当の仲間がいたから。今、地域・学校・行政が一体となって進む。[本音で語り、共感し、本気で動く]本気でなければ、人は変わらない。語り合い、共感・共鳴し…人は動く。50歳にして掴んだ岡さんの信念だ。	部 落 問 題	26	総合センター
287	部落解放運動の歩み 人間は尊敬すべきもの	部落解放運動の歩みを戦前編、戦後編Ⅰ、戦後編Ⅱの3部作として構成して、分かりやすく解説する。部落問題の入門的な教材として学校、市民啓発、企業研修、市民活動、解放運動など多様な場で使える。	部 落 問 題	60	人権推進多文化共生課
288	部落の心を伝えたい シリーズ第21巻 結婚差別400事例 一弘瀬喜代－ ※字幕版付き	「通婚率90%以上」そんな統計から、部落差別は解消したかのような誤った認識が広がっている。数字の裏にある厳しく悲しい現実を知る。	部 落 問 題	28	総合センター
289	部落の心を伝えたい シリーズ第22巻 心の窓を拓いて 一明石一朗－ ※字幕版付き	差別解消の道筋は「教育の子カラ」と確信する明石一朗さん、子どもの暮らしから人権を考える現役の校長先生。明るく笑い溢れる講演は、今日の部落問題を誰にもわかりやすく明快に論じる最適な「入門編」。	部 落 問 題	30	総合センター
290	部落の心を伝えたい シリーズ第23巻 「歩の歩み80年」 山本栄子	60歳を過ぎてから夜間中学に入学、夜間高校を経て、大学に進学した山本栄子さん。識字を求め、部落差別と闘い続けてきた情熱溢れる人生から掴んだ将来展望を、エネルギーに全国各地で語り続ける。	部 落 問 題	26	総合センター
291	シリーズ映像で見る人権の歴史 第1巻 東山文化を支えた「差別された人々」	世界遺産である銀閣寺や龍安寺の庭園などをつくったのは、実は差別されていた人々であったという歴史事実は、被差別の人たちのマイナスイメージを逆転させました。東山文化を支えた人々の様子を丁寧に描いた作品で、学習教材としても利用できるようになっています。	部 落 問 題	16	総合センター
292	シリーズ映像で見る人権の歴史 第2巻 江戸時代の身分制度と差別された人々	最新の研究成果を反映させ、中世に始まったすべての身分が、居住地や税制、戸籍などで固定され、江戸時代に「制度化」されたことを新しい図式を提示して分かりやすく解説するとともに、それを乗り越えて生きた人々の姿を明らかにした作品です。学校教育にも使っていただけます。	部 落 問 題	16	総合センター
293	部落の心をつたえたい シリーズ第24巻 皮革(かわ)から見える部落問題 一皮革研究者・柏葉嘉徳－ ※字幕版付き	皮革を通して部落問題を伝え続ける柏葉嘉徳さん(71)。自身の工場でのユーモア溢れる講演と皮なめしの体験学習が参加者の意識を大きく変えていく。	部 落 問 題	27	総合センター
294	部落の心を伝えたい シリーズ第25巻 芸能と差別 一ひとり芝居・中西和久－ ※字幕版付き	芸能万華鏡「しのだづま考」を演ずる中西和久さん。三代続く役者稼業の歴史は、100年に及ぶ部落解放運動の歴史と重なっていく。	部 落 問 題	23	総合センター
295	部落の心を伝えたい シリーズ第26巻 生きた童話を届けたい 一猿まわし・筑豊大介－ ※字幕版付き	途絶えていた猿まわし芸を復活させた功労者の一人・筑豊大介さん(58)。叩き込みではなく言って教える本仕込みの教育論が注目を浴びる。	部 落 問 題	28	総合センター
296	あなたに伝えたいこと ◎兵庫県人権啓発ビデオ(2014) ※字幕・副音声付き	兵庫県企画作品。インターネット時代における同和問題を取りあげる。同和問題を正面から取り上げ、この問題が決して他人事ではないこと、正しく知ることが同和問題をはじめとする人権問題の解決につながることを描いている。	部 落 問 題	36	人権推進多文化共生課
297	人権アーカイブ・シリーズ 同和問題 ～過去からの証言、未来への提言～① 同和問題 未来に向けて②	①は、人権教育、啓発担当者向け ②は、一般向け 同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等についてわかりやすく簡潔にまとめている。	部 落 問 題	①61 ②19	人権推進多文化共生課
298	人権アーカイブ・シリーズ 同和問題 ～過去からの証言、未来への提言～① 同和問題 未来に向けて②	①は、人権教育、啓発担当者向け ②は、一般向け 同和問題に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等についてわかりやすく簡潔にまとめている。	部 落 問 題	①61 ②19	総合センター
299	シリーズ映像で見る人権の歴史 第3巻 近代医学の基礎を築いた人々	江戸時代中期、医学の分野では山脇東洋が日本初の医学解剖を行い、17年後杉田玄白は、『ターヘル・アナトミア』を手に人体解剖を見学しました。そのとき実際に臓器を解剖したのは、差別されてきた人々でした。このDVDでは貴重な原書を取材し、近代医学の発展に貢献した人々の姿をいきいきと描いています。	部 落 問 題	17	総合センター
201-A	シリーズ映像で見る人権の歴史 第4巻 明治維新と賤民廃止令	長州藩では差別された人々が「維新団」などの名で命をかけて幕府軍と戦いました。しかし、成立した明治政府が出した「布告」は税を取ることに真の目的であり、加えて壬申戸籍の差別的な記載を許可したことなどで、差別はなくなりませんでした。最新の研究を基に公文書を読み解き、部落差別が近代になっても存続した構造を丁寧に描いています。	部 落 問 題	18	総合センター
202-A	部落の心を伝えたい シリーズ第27巻 出会いから学ぶ しなやかな新世代・高田美樹 ※字幕版付き	鳥取県の山間の被差別部落に生まれ育った高田美樹さんは、高校生のときに社会問題研究部のメンバーと出会ったことで生き方を変えます。暗く、重く、辛い話題になりがちな部落問題について、明るく、軽く、楽しく伝える話しぶりはこれまでになく、若者にも伝わりやすい内容になっています。	部 落 問 題	29	総合センター
203-A	シリーズ映像で見る人権の歴史 第5巻 洪染一揆を闘いぬいた人々	江戸時代末期、岡山藩で起こった「洪染一揆」。現地を取材し、資料を詳細に分析し、その経過が説明されています。人としての尊厳をかけ、社会情勢を見抜き、知恵と力を合わせて戦った人々から、いま学ぶべきことは何かを問いかけています。この作品は、授業の補助教材、啓発のための学習教材として制作されています。解説、指導の手引き・資料類をPDF形式で収められています。	部 落 問 題	18	総合センター

204-A	<p>汚染一揆 明日に架ける虹 (アニメーション) ※字幕付き</p>	<p>岡山県における歴史的事実である汚染一揆は、江戸時代の身分制の中で、服装などにまで加えられようとした差別政策に対して、人々が団結して立ち上がり、犠牲を払いながらも、人間としての誇りをかけた要求を掲げて闘い抜いた。</p>	部落問題	30	総合センター
205-A	<p>私の中の差別意識 ～部落差別問題から考える～</p>	<p>ドキュメンタリーを通し、差別された人々の心の痛みを伝えつつ、どうすれば差別がなくなるのかを考えるきっかけを提供します。そして、自らの差別意識に気づき、正しい知識や判断力を持つことの大切さを伝えます。</p>	部落問題	24	人権推進多文化共生課
206-A	<p>がんばるしきじ ～和泉の識字～</p>	<p>今、世界では約10億人もの非識字者(文字のよみかきにくい人)がいると言われてます。このビデオは、豊かな内容を持つ識字活動を紹介し、識字という問題への理解を深めていく。どんな人が、何を、どんな思いで、誰とついに学んでいるか、いわば「現状編」とも言える。</p>	部落問題	24	総合センター
207-A	<p>気付いて一歩ふみだすための人権シリーズ① そんなの気にしない ー同和問題ー</p>	<p>タイトルの「そんなの気にしない」は、親友に自分が同和地区出身者だということを告白した時に返ってきた言葉です。告白した方は、相手にもっと知って欲しかった。告白された方は、相手が、そのままの相手でもなにかわからないことを伝えたかった。その一言で、二人はずれ違っていきます。</p>	部落問題	17	総合センター
208-A	<p>部落の心を伝えたい シリーズ第32巻 ネット差別を許すな! ~川口泰司~ ※字幕版付き</p>	<p>今、ネット空間を主戦場に部落差別が展開。差別情報の拡散、「部落地名総鑑」公開など、「ネットを悪用した部落差別」の現実を解説。何が問題で、どう解決するのか、道筋を示す。</p>	部落問題	28	人権推進多文化共生課
209-A	<p>映像で学ぶ 部落差別解消推進法</p>	<p>大阪人権博物館部落問題学習シリーズ ①「部落差別解消推進法」の制定と部落差別の現在(15分) 赤井隆史(部落解放同盟大阪府連合会委員長) ②「部落差別解消推進法」の法的意義と活用方法(15分) 丹羽雅雄(たんばぼ法律事務所 弁護士) ③「部落差別解消推進法」の条例化と私たちの役割(15分) 加藤真司(兵庫県たつの市市民生活部人権推進課長)</p>	部落問題	45分	人権推進多文化共生課
210-A	<p>シリーズ映像でみる人権の歴史 第7巻 水平社を立ち上げた人々 一人間は尊敬すべきものだー ・小学生版 ・中学生以上版 ※字幕版付き</p>	<p>1922年3月3日、京都の岡崎公会堂に差別されてきた人々が集まり「人間は、差別するものでなく、尊敬すべきものだ」と宣言し、「全国水平社」を結成しました。この中心人物の一人である起章に関わったのは西光万吉でした。当時、差別は当たり前のように行われており、万吉も学校でひどいじめを受け、悩み苦しみました。しかし、支えてくれた仲間たちと「差別をなくすには、自分たち自身が立ち上がらなければ」と、水平社の創立を呼びかけました。呼びかけに応えて九州、四国、関東などからもたくさんの青年が創立大会に参加しました。その中には、当時まだ16歳だった山田孝野次郎もいました。彼もまた病氣と闘いながら各地へでかけ「泣いてはだめだ」と命の限り訴え続けました。このDVDでは、日本の人権の歴史を大きく変えた水平社創立の背景や、創立大会の様子、そこに参加した人々の想いを、現地や関係者を訪ねて取材し、明らかにしました。自分たちの力で差別をなくそうと立ち上がった人々の姿から学ぶことにより、「差別」や「いじめ」を根絶するため、いま何をなすべきか問いかけます。</p>	部落問題	17	総合センター
211-A	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史④ 「解放令」と近代の差別</p>	<p>Chapter1 解放令による身分差別の廃止 身分制度の廃止/太政官布告「解放令」/「解放令」反対一揆 Chapter2 新たに生まれた差別の徴し 貧困/疫病発生源という噂/部落民は人種が違うという噂 Chapter3 差別をなくすための動き 部落改善政策/部落内部からの取り組み/社会の取り組み</p>	部落問題	22分	総合センター
212-A	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史⑤ 全国水平社の創立と解放運動の展開</p>	<p>Chapter1 米騒動と被差別部落の立場 政府によって米騒動の終息に利用された被差別部落民 Chapter2 全国水平社創立とその思い 人らしく生きる権利を被差別部落民の内部から主張 Chapter3 戦争に向かう時代の部落差別 戦争協力に方向転換を余儀なくされた水平社</p>	部落問題	21分	総合センター
213-A	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史⑥ 戦後の部落問題とさまざまな差別</p>	<p>Chapter1 戦後の部落解放運動の状況 基本的人権を謳うも無くならない差別問題 Chapter2 続く部落差別の問題 就労・結婚 部落地名総鑑の存在/根強く残る結婚差別 Chapter3 差別の背景と今も続く差別 さまざまな法改正でも現在まで続く差別問題</p>	部落問題	24分	総合センター
214-A	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史① 古代の身分と差別</p>	<p>chapter1 人類の誕生から縄文時代へ ヒトの誕生と世界への拡大/日本列島形成/縄文時代 chapter2 弥生時代からヤマト王権成立 稲作の伝来/弥生時代/ヤマト王権/身分制度の誕生 chapter3 律令制崩壊とケガレ観の発生 ケガレとは/なぜ日本でケガレ観が強まっていたのか</p>	部落問題	24分	総合センター
215-A	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史② 中世のケガレ観と差別</p>	<p>chapter1 河原ノ者と差別 民衆が恐れたケガレ/仏教・神道の影響で強まる差別意識 chapter2 絵図に見る被差別の人々 ケガレ意識のなかったアイヌ/奈良時代から鎌倉時代へ Chapter3 芸能と庭師の仕事 被差別民に多かった職業/多くの功績を残した人もいた</p>	部落問題	21分	総合センター
216-A	<p>シリーズ・人権を考える 考えてみよう 差別の歴史③ 近代の差別と被差別民の暮らし</p>	<p>Chapter1 差別された身分 豊臣秀吉の刀狩と検地政策/宗門改め帳/皮多と長史 Chapter2 解体新書の陰で 老屠・屠畜を職業とする老人/解体新書にも大きく貢献 Chapter3 汚染一揆~権利の主張 全国で強まる穢多身分への禁令/権利を守ろうとして</p>	部落問題	22分	総合センター
217-A	<p>大切なひと ◎兵庫県人権啓発ビデオ(2023) ※字幕・副音声付き 「ネット社会における部落差別と人権 ~誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざして~」</p>	<p>現代社会におけるインターネットは利便性が高く、SNSや動画投稿サイトなどを通して自由に意見表明することができるのが特徴です。一方で、インターネット上では他者からの評価が自身の評価と誤認し、部落差別/外国人差別といった偏見や差別を助長するような情報を発信する行為がみられます。ときに投稿者自身も第三者から誹謗中傷を受けることがあり、現在深刻な人権問題となっています。インターネット上の一部の情報が、誤った認識や差別意識を助長すること、表現の自由を逸脱した許されない行為であると気づく大切さ、差別されている当事者が訴え続けるという負担を強いる社会構造の実態について理解するとともに、差別のない社会、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的として、人権啓発ドラマを制作しました。</p>	部落問題	34	人権推進多文化共生課
218-A	<p>破戒</p>	<p>島崎藤村、不朽の名作「破戒」を60年ぶりに映画化 主演・丑松役は間宮祥太郎、相手役に石井杏奈。 瀬川丑松(間宮祥太郎)は、自分が被差別部落出身ということを隠して、地元を離れ、ある小学校の教員として奉職する。彼は、その出自を隠し通すよう、亡くなった父からの強い戒めを受けていた。彼は生徒に慕われる良い教師だったが、出自を隠していることに悩み、また、差別の現状を体験することで心を乱しつつも、下宿先の士族出身の女性・志保(石井杏奈)との恋に心を焦がしていた。友人の同僚教師・銀之助(矢本悠馬)の支えはあったが、学校では丑松の出自についての疑念も抱かれ始め、丑松の立場は危ういものになっていく。苦しみのなか丑松は、被差別部落出身の思想家・猪子蓮太郎(眞島秀和)に傾倒していく。 猪子宛に手紙を書いたところ、思いがけず猪子と対面する機会を得るが、丑松は猪子にすら、自分の出自を告白することができなかった。そんな中、猪子の演説会が開かれる。丑松は、「人間はみな等しく尊厳をもつものだ」という猪子の言葉に強い感動を覚えるが、猪子は演説後、政敵の放った暴漢に襲われる。この事件がきっかけとなり、丑松はある決意を胸に、教え子たちが待つ最後の教壇へ立ち上るとする。</p>	部落問題	119	人権推進多文化共生課
219-A	<p>シリーズ映像でみる人権の歴史 第8巻 ひとと皮革(かわ)の歴史 ・小学生版 ・中学生以上版 ※字幕版付き</p>	<p>「ひと」は、動物の「いのち」と深く関わって生きてきました。ひとの歴史とは、他の「いのち」と深くつながる歴史です。ひとは、生き物の命を奪い、食べなければ生きていけません。しかし、米づくりに盛んになると、宗教の影響により、動物の命を奪うことを残酷、穢れしていると考える考えが日本に広まり始めました。肉の仕事などに関わる人を差別してきた背景には、こうした考えがあり、やがて、そこから部落差別が生まれるのでした。それでも、動物の命が、人々の生活の周りから消えることはありませんでした。動物の肉や皮はもちろん、皮から作られる「ニカワ」は、筆、墨、家具、医薬品、武器から仏像の接着にいたるまで、人々の生活と密接に関わり、「ひと」の文化を発展させてきたのです。「死は穢れている」という差別につながる考え方も、ほかならぬニカワでできた墨の文字や絵の助けを借りて、社会へ広がっていきました。このDVDでは、皮革製品の製造過程を取材した貴重な映像を通して、部落差別の愚かさや「いのち」の大切さを考えさせる教材としました。</p>	部落問題	19	総合センター

304	きみがたいせつ 子どもオンブズパーソンからのメッセージ	子どもオンブズパーソンは、子どもを擁護し代弁する公的第三者機関である。さまざまな現状の子どもに寄り添い、子どもを支援する立場から、子どもの最善の利益を追い求めていく。その活動の様子を子どもたちやおとなたちに伝える。	子どもの人権	35	人権推進多文化共生課
328	ハードル (アニメーション) ※劇場用映画	長編アニメーション映画。いじめを乗り越え、たくましく成長する子どもたちを描いた感動の物語。横浜に暮らす有沢麗音(レオン)は、小学6年生のある日クラスメートの万引きを目撃してしまいます。中学受験を控え、心にストレスを抱えている時でした。しかしある理由から麗音は犯人と誤解されます。大人たちの態度に麗音は深く傷つきますが、友人と文房具店のおばあさんの言葉に救われ、心の輝きを取り戻します。やがて中学生になった麗音は…。	子どもの人権	84	人権推進多文化共生課
331	ひとみ輝くとき 中学生いじめ問題啓発映画	郊外のとある中学校の生徒である拓也の携帯電話には、ひっそりなしにメールが届く。それは、彼への誹謗中傷や現金を要求する内容であった。学校裏サイトをはじめとした現代の子どもたちによる「いじめの構造」を描いている。	子どもの人権	35	総合センター
332	起こる前に考える 子ども虐待 「子ども虐待」防止の入門教材	「児童虐待」を子育ての現場を通して多面的に捉え、わかりやすく解説。虐待の実情や起こりやすい背景を探り、虐待を防ぐための対策を考えていく。	子どもの人権	39	人権推進多文化共生課
334	負けるな!千太 一さよならいじめ虫一 (アニメーション)	命とは?人間とは?いじめとは?素直な心でいじめを考えるある夏の物語。ある日、クラスの体の弱い女の子がいじめグループのターゲットになり、やがて同じクラスの千太が、このいじめを先生に告げろしたという噂が広がり、いじめの矛先は千太へと向けられる。	子どもの人権	24	人権推進多文化共生課
335	ネットいじめ ひとりで悩まない ※指導者向け	友人の機嫌を損ねた中学2年生の美咲に、見知らぬ男性から不審メールが届くようになる。美咲のプロフのプロフィールが書き換えられ、ネット上に個人情報公開されていた。	子どもの人権	27	総合センター
336	やさしいオオカミ (アニメーション)	悪の代表・暴力の代名詞にされているオオカミ。実はやさしい心を持ち本当の強さを持っていたのです。	子どもの人権	15	総合センター
337	金太郎心のちからもち (アニメーション)	小さな動物たちの間でクマのいじめが噂にのぼっていたが、クマにはクマの言い分があった。噂が噂を呼んで生まれた勘違いを、心のまっすぐな金太郎が正していくお話。	子どもの人権	15	総合センター
338	みんないちばん! (アニメーション)	小さな森の小さな仲間たちのお話です。ともだちのいいところを認め、自分のいいところを見つけることのすばらしさを伝えます。	子どもの人権	13	総合センター
339	誇り 一差別といじめは越えられる一	震災と津波…。そして更に原発事故と風評被害が福島県を襲いました。それは、風評被害と言う名の差別や偏見、いじめだとも言えます。情報に振り回され、真実を見ない…。その姿は差別や偏見を生み出す人々の心のしくみを象徴しています。本作品は、福島県の人々が経験した事実をもとに、差別やいじめを考えるものです。	子どもの人権	30	人権推進多文化共生課
340	ねずみくんのきもち (アニメーション)	ロングセラーのねずみくんの絵本シリーズの中の「ねずみくんのきもち」を映像化した作品で、いじめや自殺が多い今、「おもいやり」や「想像力」の大切さを教えてくれる、ねずみくんから子どもたちへのメッセージです。	子どもの人権	12	総合センター
341	いのちと死の授業 第3巻 いじめ・自殺を防ぐために ～子どもたちのいのちを守る～	いじめの被害にあった子どもたちや、自殺に至ってしまった子どもたちの例をドラマで再現し、自殺へ追い込まれてしまう原因や、いじめや自殺のサインについて解説。また、周りで気づきを促したり、自尊感情を育てるために実際に学校で行われている活動も紹介しています。このDVDは、メニューで児童・生徒向け映像16分、教員向け映像34分の選択ができます。教員向け映像には、いじめをする側・される側のサインの解説、現代の子どもたちのいじめ、自殺の特徴、いじめが確認されたときに学校で行うべき対処、中学校での取り組み例を追加しています。	子どもの人権	34	総合センター
342	防ごう 子どもの虐待 日常の子育てから考える	子どもの虐待が深刻な社会問題となっています。虐待の芽は日常生活の中に潜んでおり、誰もが虐待の当事者になる可能性があるともいえます。叩いてしまったり、親の価値観を押し付けてしまったりといった、日常の子育ての中で起こしがちな問題点を示し、虐待を防ぐために私たちができることを描いている作品です。	子どもの人権	28	総合センター
343	おれたち、ともだち (アニメーション)	1時間100分で「ともだちや」をはじめたキツネ。でも、友だちって、お金で買うものなの…?キツネとオオカミの愉快でかわいい友情物語です。※14分のアニメ「ともだちや」「ともだちくるかな」「あしたともだち」「ごめんねともだち」の4話が収録されていて、作品の選択もできます。	子どもの人権	52	総合センター
344	ココロ屋 (アニメーション)	小学生のひろきは友だちとケンカし「先生に心を入れ替えなさい」と言われます。そこへ心を取り替えてくれるココロ屋が現れ様々な心を変えてもらい…。心をテーマに自分とは何かを考えることができる作品です。	子どもの人権	25	総合センター
345	むしむし村の仲間たち みんないいとこあるんだよ (アニメーション)	外見や能力が異なるむしむし村の昆虫キャラクター達。時には、それぞれの違いが原因で相手を傷つけたり、自分なんてダメなんだと悩んだりもします。でも、誰でも苦手なこともあれば、得意なこともあります。大切なのはお互いの違いを認め、相手の気持ちを考えてやること。そして仲間と助け合っていくこと。そんなことを、子供達が楽しく学んでいけるアニメーション作品です。	子どもの人権	13	総合センター
346	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ①危機管理としての授業の必要性 ※教員向け映像教材 ※バリアフリー字幕版選択可	小学校・中学校の教科書に性的指向と性自認の多様性についての記載が盛り込まれ、学校教育で性的指向と性自認の多様性を理解する取組が始まっています。しかしながら、LGBTsの年齢層におけるいじめ被害、自傷行為の高さが国内外の研究で示されており、教育現場は危機管理の一環としてこの問題を捉え、現状を十分認識した上での取組をしなければなりません。本巻では、LGBTsに関する授業の実現を目指し、学校としてできることを模索していく一人の教師の姿を描きます。取組に抵抗する同僚など実際の教育現場で起こりうる様々な困難も描き、その解決策を考え、問題が起こりつつも一歩前に進めるための多くのヒントを得ることが出来ます。	子どもの人権	38	人権推進多文化共生課
347	LGBTsの子どもの命を守る学校の取組 ②当事者に寄り添うために ～教育現場での落とし穴～ ※教員向け映像教材 ※バリアフリー字幕版選択可	実際の教育現場にLGBTsの児童生徒は一定多数存在しているのにも関わらず、実際にその当事者者に対応経験のある教員は多くありません。当事者の多くは、誰にも話すことが出来ずにいる場合が多く、葛藤や苦悩を抱えることが少なくありません。最大限の想像力を持ち、こういった状況への配慮が求められます。この間ではLGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く非当事者の児童生徒の存在やその関わりにあたって、教員が留意すべき心得や、学校での取り組みや授業展開の注意点を物語仕立てで紹介いたします。教師の不適切な声掛けや授業展開がどのような深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。	子どもの人権	38	人権推進多文化共生課
348	こどもしよくどう	子どもの目線から現代社会の貧困問題を描いたドラマ。小学5年生の高野ユウトは食堂を営む両親、妹とともに何となくおだやかな毎日を過ごしていた。幼なじみのタカシの家は母子家庭で、タカシの母はわずかなお金を置いたままほとんど家に帰ってくることはなかった。そんなタカシを心配したユウトの両親は食堂に招き、頻りに夕食をごちそうしていた。ある日、ユウトは河原で父親と車上生活をしているミチルとヒカル姉妹に出会う。彼女たちの境遇を気の毒に思ったユウトは実家の食堂に姉妹を連れて行き、2人にも食事を出してほしいと両親に願い出る。そして数日後、姉妹の父親が姿を消し、ミチルたちは行き場をなくしてしまう。	子どもの人権	93分	人権推進多文化共生課
349	ズッコケ三人組のいじめをなくす作戦 (アニメーション) ※文部科学省選定	いじめに関わる深刻な事件が後を絶ちません。この作品では、ズッコケ三人組のクラスの中でいじめが起これ、その問題を三人組のメンバーが、どう考え、どのように話し合っ解決へと導いていくか、そのストーリーを展開しながら、視聴する子供たちに「いじめは絶対してはいけない」という強い意識を持ってもらい、いじめを防ぐためには、被害者のつらい気持ちに寄り添える思いやりを育むことが大切であることを訴えていくものです。	子どもの人権	15分	人権推進多文化共生課
350	みんな友だち (アニメーション)	自分のことをペンギンと知らない主人公プウの心の成長を描いたアニメーション作品です。空を飛ぼうと懸命に練習をし、悩み疲れたペンギンが気づいた自分の可能性…。イジメ、そして友情。ペンギン、カモメ、カラス、ウミガメ、そして神様が織りなす生きる力の物語です。	子どもの人権	15分	総合センター
351	ねずみくんのチョッキ① (アニメーション) ※日本語字幕	いじめに関わる深刻な事件が後を絶ちません。この作品では、ズッコケ三人組のクラスの中でいじめが起これ、その問題を三人組のメンバーが、どう考え、どのように話し合っ解決へと導いていくか、そのストーリーを展開しながら、視聴する子供たちに「いじめは絶対してはいけない」という強い意識を持ってもらい、いじめを防ぐためには、被害者のつらい気持ちに寄り添える思いやりを育むことが大切であることを訴えていくものです。(文部科学省選定)	子どもの人権	38分	総合センター

352	うみとりくのからだのはなし ※幼児・小学生向け	ふたごのうみとりくは、そっくりだけど、ぜんぜんちがう。りくはおかあさんになでられるのが好きだけど、うみはなでられるのが苦手。そんな2人といっしょに、みんながそれぞれのからだを大切にすることは、どうしたらよいのかを考えるアニメーション教材です。 ●自分の体にだれがどんなふうに触れるかは、自分で決められること。●相手の体に触れるときは、同意が必要なこと。●触るのも見るのも自分だけの、とくべつ大事な場所、プライベートパーツとは？●プライベートパーツに触られそうになったら？触られてしまったら？大事なことだけれど、なかなか話しあうのが難しいからだの話を、かわいらしい双子といっしょに、やさしいシンプルなことばで考えます。性犯罪から身を守ることはもちろん、相手の体を尊重する態度を身につけます。「生命の安全教育」の教材にも最適です。	子どもの人権	16	総合センター
353	あなたは大丈夫？ 考えよう!いじめ ～一人で悩まず相談しよう～	【企画制作】法務省人権擁護局・(公財)人権教育啓発推進センター [小学生編・中学生編] 現在では、小中学生の多くがスマートフォンを持っていることから、メッセージアプリやSNSを使ったいじめなどのトラブルが多く起きています。いじめをなくすにはどうしたらよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、事例をもとに学んでいきます。プロローグ 小学生編(本編・解説) 中学生編(本編・解説) エピローグ	子どもの人権	16	人権推進多文化共生課 総合センター
354	あなたは大丈夫？ 考えよう!児童虐待 ※字幕・副音声付き	児童虐待のさまざまな事例について、こどもパートはオウムのカイくんが、大人パートは法務局職員が各エピソードを解説します。 事例1:心理的虐待1 事例2:心理的虐待2 事例3:心理的虐待3 事例4:心理的虐待4 事例5:身体的虐待 事例6:ネグレクト1 事例7:ネグレクト2 事例8:性的虐待 事例9:ネグレクト1宗教活動に関する虐待 エピローグ:オウムのカイくん(こどもパート)、法務局職員(大人パート)が相談窓口を案内します。	子どもの人権	33	人権推進多文化共生課 総合センター
412	私らしくマイノリティを生きる 女性差別撤廃条約のいま ※中学生以上対象	セクシャルマイノリティ、シングルマザーなど複合的な差別を乗り越えようとする当事者たちのインタビューとともに、部落、沖縄、アイヌ、在日コリアン、移住女性などマイノリティ女性たちがニューヨークの女性差別撤廃委員会で実態を訴えたときの様子、日本国内にはいまだに条約の趣旨に違反する法律が残されていることなど女性差別撤廃条約を実現する上での課題が学べるものとなっている。	女性の人権	20	人権推進多文化共生課
413	出産・育児への理解がない ～職場のマトニティ・ハラスメントを防ぐ～ ※文部科学省選定	「マトニティ・ハラスメント(マタハラ)」とは、働く女性が妊娠・出産を理由に職場で嫌がらせを受けたり、自主退職を強要されたり、不当な扱いを受けることをいいます。ある会社のハラスメント相談員が、マタハラに悩む女性社員から相談を受けたことをきっかけに、マタハラに関する知識を深め、周囲に理解と解決策を示していきます。	女性の人権	26	総合センター
414	考えよう!ハラスメントvol.1 マトニティハラスメント 女性が安心して働ける職場環境に	最高裁から「妊娠で降格は違法」とする判決が出されるなど「マトニティハラスメント」が企業リスクを考へるうえでも今や重要な課題となっています。マタハラの言動と対応、さらには具体的な防止対策についてイラストやデータも用いてわかりやすく解説しています。	女性の人権	20	総合センター
415	あした咲く ◎兵庫県人権啓発ビデオ(2017) ※字幕・副音声付	「幸せ」の形は十人十色です。自分で自分の生き方を選択し、女性はもちろんすべての人が「自分の花」を生き活きと咲かせることのできる多様性を尊重する社会をめざすきっかけとなるドラマです。	女性の人権	36	人権推進多文化共生課
416	どう守る 女性の人権 女性が活躍できる職場づくり	未だに職場に根強く残る女性への権利侵害の再現ドラマから、なぜ法があっても女性への権利侵害が起こるのか、その原因と対処法を具体的に説明しています。男女が「協働」できる職場づくりを目指すことが企業の発展につながることを訴えている作品です。	女性の人権	24	総合センター
419	体験!発見!チャレンジ・ストーリー ～まちづくりにかける元気な女性たち～	コミュニティ・ショップの夢にチャレンジ!(29分) 滋賀県東海市…NPO法人『びいめ～企画室』 歴史ある街並みを蘇らせる女性たち!(29分) 熊本県宇城氏…「風の会」 “人”と“気持ち”をつなげたい!(29分) 京都市舞鶴市…NPO法人『舞鶴市女性センターネットワークの会』	女性の人権	90	人権推進多文化共生課
420	夢へのパスポート ～まちづくりにかける元気な女性たち～	地域を活性化している元気な女性の活動3例と、その活動を支援するために内閣府が派遣したアドバイザーの取り組みを紹介。 ◆子育てNo.1の街を作りたい!◆地元の伝統食を現代に発信したい!◆団塊世代が“元気”を生み出す街にしたい!	女性の人権	87	人権推進多文化共生課
421	あなたは大丈夫？ 考えよう!デートDV ※法務省委託 令和5年度人権啓発教材	【企画制作】法務省人権擁護局・(公財)人権教育啓発推進センター 「デートDV」に関する3つの事例紹介の後に、事例解説・ディスカッションが入ります。 事例1:それは愛か、束縛か? 事例2:お金を出すのが愛なのか? 事例3:キスしなくちゃいけないの?	女性の人権	30	人権推進多文化共生課 総合センター
514	今を生きる (ハンセン病)	10歳でハンセン病を発病し、岡山県国立療養所長島愛生園に隔離された石田雅男さんの人生を通して、ハンセン病強制隔離の「歴史と今」を学び、ハンセン病について正しく理解し、社会に残っている偏見や差別をなくしていこうとする心を育むドキュメンタリー。	障害のある人の人権	49	人権推進多文化共生課
518	アムヒア 僕はここにいる ◎大阪府人権啓発ドラマ	知的には遅れないものの、発達がアンバランスなために学校や社会の中で生きにくさを感じ、苦しんでいる”発達障害”の人たちのことを理解するとともに、どんな支援が必要であるかをまなび、すべての人権が尊重される豊かな社会の実現について考えるきっかけとします。	障害のある人の人権	54	人権推進多文化共生課
519	構えない隠さない飾らない～障害者雇用最前線～ 企業と人権シリーズ第2弾	特別子会社から地域の独立企業、街の洋菓子店まで、自前の知恵と工夫で障がい者雇用に取り組む最新のユニーク7事例を徹底取材。大切なのは、同じ目の高さ立つこと、そして、構えない・隠さない・飾らないの3つをモットーに。	障害のある人の人権	36	総合センター
521	もも子 かえるの歌がきこえるよ。	障がいのある双子の妹もも子をおおしく思う兄・力の優しさや心の成長を中心に、家族愛と葛藤、健康者と障がい者の共生の問題を通して、生きる喜びと悲しみを感動的に描く。	障害のある人の人権	80	総合センター
522	モップと箒(ほうき) ～大阪発の障がい者雇用～ ※ドキュメンタリー映画	働きたいと願う人たちがいる。それを叶えてあげたいと願う人たちがいる。知的障がい者の就労支援という人と人が真剣に向き合う職場。1年半の密着取材の中で見たのは。	障害のある人の人権	30	総合センター
523	こころの病と向き合う 現代社会と人権シリーズ ※字幕版付き	うつ病や統合失調症など心の病は、誰でもかかる可能性のある病気です。しかし、こうした病気に対する偏見はいまだに根強いものがあります。この作品は、心の病に罹患した人々や周囲の人々の日常をドキュメントし、心の病に対する偏見について問い直し、人権について考えていきます。	障害のある人の人権	25	人権推進多文化共生課
524	あだちファクトリー物語 企業内授産で障害のある人の雇用促進を ◎東京都地域中小企業応援ファンド地域資源活用イノベーション創出助成事業	障がい者雇用への新たな挑戦「企業内授産」。それは企業にとっても障がいのある人にとっても、たくさんのメリットがあります。一私たちの願いは、働くことで生きがいを得て自立すること。だから今日も、みんな企業内授産施設でがんばっている。	障害のある人の人権	49	人権推進多文化共生課
525	もういいかい ～ハンセン病と三つの法律～	ハンセン病問題の真実を、多くの証言に基づいて追っていきます。三つの法律をもとに展開された絶対隔離政策によって療養所の中で何が行われ、入所者がどのような生活を送っていたのか、その仕組みと実態を検証し、100年にわたるハンセン病問題の歴史を描いた作品です。	障害のある人の人権	143	総合センター
526	秋桜 -コスモス- の咲く日 ◎北九州市人権啓発映画 ※字幕・副音声付き	北九州市企画作品。この映画は、「目に見えない違い」の一つとして発達障がいを取りあげています。発達障がいのある人の生きづらさ痛みを真摯に伝えるとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々に重ね、「ともに生きることの喜び」を伝える。	障害のある人の人権	34	人権推進多文化共生課
527	聲(コエ)の形 ※全日本ろうあ連盟慣習道徳教材	「このマンガがすごい!2015 オトコ編」第1位を受賞した感動作「聲の形」(講談社)を道徳・人権学習用教材ドラマとして完全映像化!!中学生の将也のクラスに聴覚障がいを持った硝子さんが転校してきたことからドラマが始まります。「いじめ」や「障がい者との共生」などの難しいテーマを視聴者が自然に考えることができる作品です。	障害のある人の人権	30	総合センター
528	青年期、成人期の発達障害者支援 第1巻 発達障害者を知っていますか?	発達障害者支援法に基づき「自閉症」「アスペルガー症候群」「LD」「ADHD」に焦点をあて、青年期、成人期の発達障がい者と家族に対する支援のあり方を学びます。	障害のある人の人権	35	総合センター
529	人権アーカイブ・シリーズ ハンセン病問題 ～過去からの証言、未来への提言～① 家族で考えるハンセン病	①は人権教育・啓発担当者向け、②は一般向け。 ハンセン病に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心にわかりやすく簡潔にまとめられています。	障害のある人の人権	056/220	人権推進多文化共生課

530	人権アーカイブ・シリーズ ハンセン病問題 ～過去からの証言、未来への提言～① 家族で考えるハンセン病	①は人権教育・啓発担当者向け、②は一般向け。 ハンセン病に関する歴史的経緯、当時の社会情勢、問題の本質等について、関係者の貴重な証言や解説等を中心にわかりやすく簡潔にまとめられています。	障害のある 人の人権	056/220	総合センター
531	こんにちは 金泰九(キムテグ)さん ハンセン病問題から学んだこと	第33回全国中学生人権作文コンテスト法務大臣賞受賞作品「No! 言える強い心をもつ～ハンセン病から学んだこと～」をもとに映像化。作文の作者と金さんとの交流も紹介するともに、かつてハンセン病を患った人たちや、ご家族への人権侵害の歴史を二度と繰り返さないように強く訴えかけます。	障害のある 人の人権	25	人権推進多文化共生課
532	青年期、成人期の発達障害者支援 第2巻 生活・余暇・就労支援をめぐる	「発達障害」は、一生涯に渡る支援が重要であるといわれていますが、青年期、成人期の発達障害者と彼らを支える家族に対してどのような支援が必要なのでしょう?第2巻では、ある一人の青年の姿を通して、生活と就労における支援の必要性を学びます。また、家族の抱える苦悩や発達障害の4つの形態についても紹介しています。	障害のある 人の人権	28	総合センター
533	障がいを越えて ※字幕・副音声付き	自分とは違う存在や理解しにくい相手を恐れ、排除してしまう…そんな「心のバリア」を、あなたも感じたことはないですか?このビデオに出ている人たちの多くも、最初は壁を感じていました。しかし相手に向かって一歩踏み出すことで、必ず壁には穴があき、そこから新しい景色が見える…そんな三つの実例を紹介しています。	障害のある 人の人権	30	総合センター
534	風の匂い ◎兵庫県人権啓発ビデオ(2016) ※字幕・副音声付き	「障がいのある人の人権～共に生きることのよここび～」をテーマに、知的障がいがある幼なじみの友人との再会から、青年となった二人の成長と職場での人間模様を通して、社会的な課題でもある『合理的配慮』についても触れ、自分自身の問題として考えるきっかけとなる人権啓発ビデオ。	障害のある 人の人権	34	人権推進多文化共生課
535	人間回復の橋、心のかけ橋となれ ①ハンセン病療養所 語り部証言集 長島愛生園語り部 証言 ②人間回復の橋、心のかけ橋となれ～ハンセン病を正しく理解するために～	ハンセン病が医学の進歩で「治癒する病」になってから久しい。長島愛生園、邑久光明園の入園者が待ち望んだ「人間回復」の象徴・邑久長島大橋が島と本土を結んだ。1世紀にわたり患者やその家族を苦しめてきた「らい予防法」は廃止され、国がかつての隔離政策の過ちを認めた。残る課題は、ハンセン病を正しく理解することで、人々の心に残る偏見や差別をなくすことである。 「ハンセン病の正しい理解を進める普及啓発事業実行委員会」制作の普及啓発DVD平成14年度 日本産業映画・ビデオコンクール 公共団体部門奨励賞受賞作品。	障害のある 人の人権	①90 ②29	人権推進多文化共生課
536	ハンセン病とは? (ハンセン病を正しく理解するために)	兵庫県健康福祉部疾病対策課企画の、ハンセン病問題に対する正しい知識の普及啓発のために作成されたハンセン病問題啓発DVD。	障害のある 人の人権	30	人権推進多文化共生課
537	弐雄二 ハンセン病とともに生きる 熊笹の尾根の生涯	国のハンセン病隔離政策の誤りを指摘し、今も根強く残るハンセン病の元患者らに対する偏見・差別と闘い続けてきた詩人・弐雄二(ごだまゆうじ)さんの生涯が描かれています。この作品を通して、あらゆる差別をなくし、人権を守る努力をして欲しいとの思いと、そのことを考えるための重要なメッセージを投げかけています。	障害のある 人の人権	43	総合センター
537-A	弐雄二 ハンセン病とともに生きる 熊笹の尾根の生涯	国のハンセン病隔離政策の誤りを指摘し、今も根強く残るハンセン病の元患者らに対する偏見・差別と闘い続けてきた詩人・弐雄二(ごだまゆうじ)さんの生涯が描かれています。この作品を通して、あらゆる差別をなくし、人権を守る努力をして欲しいとの思いと、そのことを考えるための重要なメッセージを投げかけています。	障害のある 人の人権	43	人権推進多文化共生課
538	障害者は困っています! ※字幕付き ～合理的配慮へのポイント①～ (肢体不自由、視覚障害、聴覚障害)	様々な障がい別(①は肢体不自由、視覚障害、聴覚障害。②は発達障害、知的障害、精神障害)に障がい者の実態と日常での困り事を具体的に示しながら、主に自治体や企業、商店など、障がい者や接する機会が多い人たちはどのように対応していけば良いか、合理的配慮(障がいのある人もない人も平等な機会を確保するために行われる配慮)の観点から描いています。「合理的配慮」が私たちの日常に当たり前のこととして浸透し、自然にお互いを支えあう社会の実現を目指していくことを考えることができる教材です。	障害のある 人の人権	20	総合センター
539	障害者は困っています! ※字幕付き ～合理的配慮へのポイント②～ (発達障害、知的障害、精神障害)	様々な障がい別(①は肢体不自由、視覚障害、聴覚障害。②は発達障害、知的障害、精神障害)に障がい者の実態と日常での困り事を具体的に示しながら、主に自治体や企業、商店など、障がい者や接する機会が多い人たちはどのように対応していけば良いか、合理的配慮(障がいのある人もない人も平等な機会を確保するために行われる配慮)の観点から描いています。「合理的配慮」が私たちの日常に当たり前のこととして浸透し、自然にお互いを支えあう社会の実現を目指していくことを考えることができる教材です。	障害のある 人の人権	20	総合センター
540	君が僕の息子について教えてくれたこと ※2014年8月16日 NHK総合で放送 ※平成26年度文化庁芸術祭テレビドキュメンタリー部門大賞受賞	日本の若者は東田直樹さん。自分の心の内を綴ったエッセイ「自閉症の僕が跳びはねる理由」を2007年に発行。そのエッセイが自身も自閉症の息子を持つイギリス作家デイヴィッド・ミッチェル氏の目にとまった。日本に滞在していたこともあるミッチェル氏は東田さんの本を読んで、まるで息子が自分に語りかけているように感じた。二人の出会いにより「自閉症の僕が跳び跳ねる理由(The Reason I Jump)」は世界20カ国以上で翻訳され、自閉症の子どもを持つ世界中の多くの家族に希望の灯をともした。	障害のある 人の人権	本編59 特典19	人権推進多文化共生課
541	障害のある人と人権 ～誰もが住みよい社会をつくるために～	障がいのある人が直面する人権問題や心のバリアフリーの実現に向けた取組みなどを紹介し、「障がいのある人と人権」について考えていきます。	障害のある 人の人権	33	人権推進多文化共生課
542	心のバリアフリーをめざして ～合理的配慮と職場のコミュニケーション～	このDVDでは、実際に障がいのある方に出演してもらい、ご自身が経験したケースを通じて、周囲が気を付けるべき配慮について学ぶことができます。	障害のある 人の人権	35	人権推進多文化共生課
543	共に働くための合理的配慮 ※字幕あり 監修:金子 雅臣(一般社団法人職場のハラスメント研究所代表理事)	本作は、障害に関係なく、誰もが職業を通じて社会参加できる『共生社会』の実現を目指し、合理的配慮について学んでゆきます。 障害別に、その障害の特性と、合理的配慮の具体例を紹介。また障害のある方にとっての合理的配慮とは何か?障害のある方自身の言葉を通して、紙面などでは伝わらない合理的配慮のありかたを考えてゆきます。そして障害者雇用に取り組んでいる企業の合理的配慮の実践例を見てゆくことで、合理的配慮の考え方や進め方の参考となる内容です。24分とインタビュー集9分	障害のある 人の人権	33	人権推進多文化共生課
544	できることからはじめよう みんなの声かけ運動 ～下肢に障害のある方への声かけ～	困っている人がいたら勇気を出して、声をかけましょう!「お手伝いしましょうか?」兵庫県では、だれもが地域社会の一員として支えあうなかで、安心して暮らし、元気に活動できる「ユニバーサル社会」の実現を目指しています。その一環として、障害のある方、高齢者、妊婦、小さな子どもと連れの方をはじめ、だれもがまちなかで困っているときに、みんなが声をかけて助けあおうという「みんなの声かけ運動」を展開しています。下肢障がい当事者が中心になって、健常者や妊婦、視覚障がい者、聴覚障がい者、動画制作関係者など、多様な主体とともに映像を制作するサポートを行いました。また、打ち合わせや撮影を通じて、障がいのある方と健常者がともに過ごす時間をつくることで、表面的な声かけの知識におわらず、それぞれが同じ凹凸のある社会の一員と体感できる場となるよう努めました。	障害のある 人の人権		人権推進多文化共生課
545	ハンセン病問題を知る ～元患者と家族の思い～ ※字幕・副音声付き	令和2年度 法務省委託 人権啓発動画 隔離政策によって偏見や差別に苦しみながら生きてきた、ハンセン病元患者やその家族のエピソードをアニメーション化し、国立ハンセン病資料館学芸員による解説とともに収録しています。ハンセン病についての正しい知識や歴史、そして近年の動向など、ハンセン病に関する理解を深めるとともに、偏見や差別のない社会の実現について考えるためのDVDです。	障害のある 人の人権	35	人権推進多文化共生課
649	火垂るの墓 (アニメーション) ※劇場用映画	自らの体験をもとに書いた野坂昭如の同名小説を、アニメ映画化。戦争によって両親を失った幼い兄妹がたどる過酷な運命を描く。 父は出征で消息が知れず、空襲で母と家を亡くした兄妹が、親戚の家に引き取られるも邪魔者扱いされ、やがて防空壕に移り住み、ふたりきりで生きようとするのだが…。原作者・野坂昭如に「アニメ恐るべし」と言わしめた、高畑勲監督の傑作反戦アニメ。 4歳と14歳で、生きようと思った。昭和20年、神戸はB29の爆弾が降りそそぎあたり一面は焼け野原となった。母を亡くした幼い兄妹、清太と節子誰の力も借りず二人だけの生活を始めるつまずくも笑いながら溢れる生活 夏の夜の虫は、精一杯生きようとした二人の命の輝きでもあった	平和問題	88	人権推進多文化共生課
650	あした元気になる一れ! 半分のさつまいも (アニメーション)	被災孤児となったかよちゃん、きいちゃん兄妹が、終戦直後の貧困と不安の時代に、明るくたくましく生き抜いていく姿を丁寧に描いている。海老名香葉子さんの「半分のさつまいも」を原作として制作されたもの。	平和問題	90	人権推進多文化共生課
651	いわたくんちのおばあちゃん (アニメーション) —ばく、戦争せんげね—	広島原爆にまつわる実話を基にした絵本『いわたくんちのおばあちゃん』をアニメ化した、平和教育のためのビデオです。原爆や戦争の悲惨さを伝え、平和や命の大切さを強く訴えかける。	平和問題	20	総合センター

652	ボクとガク あの夏ものがたり (アニメーション) ©北九州市人権啓発アニメーション(2009)	小学5年生の希望(のぞみ)と岳(かく)は、近所の美代おばあさんと親しくなり、かつての友だちや地域、八幡大空襲のことを教わります。2人の子どもとおばあさんの交流を描きながら、子どもの人権や、地域で育む人権文化に目を向け、「戦争と平和」についても描いている。 北九州市は平成22年2月10日「非核平和都市宣言」をしています。	平和問題	42	人権推進多文化共生課
653	父と暮せば	原爆で両親と友人のほとんどを失った娘(宮沢りえ)。自分だけが生き残った負い目に苦しむ彼女の前に、一人の青年(浅野忠信)が現れる。恋のときめきに自分自身で蓋をしようとする彼女を、なだめ、励まし、時には大声で怒り、何とか幸せになってほしいと願う父(原田芳雄)。二人の笑い涙の対話が大きな反響を呼んだ井上戯曲の傑作『父と暮せば』を、黒木和雄 監督が映画化。不器用だが、娘の幸せを心から願っている父と、健気に懸命に生きようとする娘。人間の心に戦争が残す大きな傷跡と、それでも立ち上がる"生きる力"の素敵さを感じさせてくれる佳作。	平和問題	99	総合センター
654	一つの花 (アニメーション) ※児童文学ライブラリー	昭和19年夏、日本は太平洋戦争で食べ物も不足していた。お腹を空かせ、おにぎりをねだる幼い我が子に、父はコスモスの花を1つ手渡し出て行く…。戦争の現実、食料難による飢餓感から平和の尊さを訴える。 「一つだけちょうだい」これがゆみ子のはっきり覚えた最初の言葉でした。まだ、戦争の激しかった頃のことです。お父さんが戦争に行く日、ゆみ子はお母さんにおぶわれて、汽車の駅まで送っていきました。「一つだけ、一つだけ」とおにぎりを欲しがらるゆみ子にお父さんは一輪のコスモスをあげました…。	平和問題	11	総合センター
656	おこりじぞう (アニメーション)	広島のおまに原爆が落とされた昭和20年の夏、水をほしがらるひろちゃんの口元に、おじぞうさんの目からポロポロと涙がこぼれ出す。核兵器の恐ろしさと平和の尊さを伝える。	平和問題	28	人権推進多文化共生課
658	キムの十字架 (アニメーション)	第二次大戦中、日本軍に田畑を取られ、さらには日本へ強制労働に送られた朝鮮人兄弟ジェハとセファンの姿を通して、戦争の悲惨さを訴える作品。原作は和田 登・作の小説『キムの十字架』。ジェハ役の古谷 徹、セファン役の野沢雅子をはじめ、メインキャストには有名声優が多数参加している。	平和問題	80	総合センター
659	紙屋悦子の青春 ※劇場用映画	戦争に引き裂かれる恋と、庶民の日常を淡々と描く。主演は原田知世、共演は永瀬正敏ら。戦時下の青春、庶民の心情を体現する。食卓での団楽(だんらん)や夫婦げんか、お見合いの不器用な会話など何気ない日常描写を通し、戦争の不条理、無意味さを訴えかける。	平和問題	111	人権推進多文化共生課
660	ヒロシマの記憶 幻の原爆フィルムで歩く広島	日本人によって撮影された、広島に原爆が落とされて2か月後の風景を収録したフィルムをDVD化した作品。このフィルムは1946年に「広島・長崎における原子爆弾の効果」という映画となり、米軍の教材とされました。映された映像と現在の場所を対比することで、過去と現在、戦争と平和、当時の記録を蘇らせる作品です。	平和問題	35	総合センター
661	長崎の記憶 幻の原爆フィルムで歩く長崎	日本人によって撮影された、長崎に原爆が落とされて2か月後の風景を収録したフィルムをDVD化した作品。このフィルムは1946年に「広島・長崎における原子爆弾の効果」という映画となり、米軍の教材とされました。映された映像と現在の場所を対比することで、過去と現在、戦争と平和、当時の記録を蘇らせる作品です。	平和問題	37	総合センター
662	つるのって 「とも子の冒険」 ON A PAPER CRANE TOMOKO'S ADVENTURE	夏の日に広島原爆資料館を訪れたとも子の前に、ふしぎな少女サダコが現れる。サダコの案内でとも子のふしぎな冒険が始まる。 フランスで原爆の実相を紹介する運動をするミホ・シボさんの「核兵器廃絶の願いをアニメーションで世界の子どもたちに伝えよう」という考えから、1989年2月「世界の子どもに平和のアニメを贈るピース・アニメの会」が発足。その運動を通して完成したのがこの『つるのって とも子の冒険』です。被爆した少女「サダコ」と友達になったとも子を通して原爆の悲惨さと平和への思いを描いた本作品は1995年には英語版・フランス語版を制作、これまでに世界65カ国以上で上映されました。主人公・とも子の声を「セーラームーン」月野うさぎの三石琴乃さん、主題歌を倍賞千恵子さんが担当しています。	平和問題	27	人権推進多文化共生課 総合センター
663	よっちゃんのピー玉 (アニメーション)	実話をもとにした作品。広島で被爆死した4歳の少年の物語。この物語を通して、原爆の恐ろしさを子どもたちに語り継いでいきたい。	平和問題	58	人権推進多文化共生課
664	はだしのゲン ※劇場版 ※実写版	1945年8月6日午前8時15分、ゲンが学校へ行く途中、市内上空に飛来したB29が新型爆弾を投下。強烈な白い閃光が走り、巨大な雲が一気に広がります。ゲンは運よく助かりましたが、街は猛火と黒煙のなかでその姿を一変させていました。被爆の苦しみに負けることなく、必死に生き抜こうとするゲンの姿が、平和の尊さを訴え続けます。	平和問題	107	総合センター
666	もうひとつの沖縄戦記 ◎本土復帰30周年記念DVD作品	沖縄は、第2次世界大戦当時、住民の4人に1人が犠牲になるという悲惨な地上戦を経験しました。当時、子どもだった方々の体験談を参考に、同じ年頃の子どもの朗読による22の証言で構成されています。これまでの戦争ドキュメンタリーとは違った、子どもの視点での作品となっています。	平和問題	30	総合センター
667	消えさらぬ傷あと 火の海・大阪 (アニメーション)	1945年(昭和20年)大阪に住んでいた多くの人々が無差別の空襲によって、尊い命を失いました。二度とこのような不幸な戦争を繰り返さないよう、平和の尊さを訴えるアニメーションです。	平和問題	20	総合センター
668	100ばんめのサル (アニメーション)	世界が核の問題に熱い視線を向ける今日。恐怖と危険がいっぱいの地球を救えるきっかけとは---「100ばんめのサル」!物事や文化は、この「99番目」までは、少しずつ着実な拡大の形態を取り、「100番目」(臨界点)に達したときに、爆発的に拡大をする。ここに世界平和、核廃絶へのヒントが隠されているのではないだろうか。	平和問題	17	人権推進多文化共生課
669	ぞう列車がやってきた (アニメーション)	戦争から象を守り抜いた人々の優しさや勇気を子どもたちの視点から描くとともに、夢も希望もなくなった戦後、「象を見たい」「象に会いたい」という東京の子どもたちが、平和の象徴として「ぞう列車」を走らせるまでを描く長編アニメーション。	平和問題	80	人権推進多文化共生課
669	ぞう列車がやってきた (アニメーション)	戦争から象を守り抜いた人々の優しさや勇気を子どもたちの視点から描くとともに、夢も希望もなくなった戦後、「象を見たい」「象に会いたい」という東京の子どもたちが、平和の象徴として「ぞう列車」を走らせるまでを描く長編アニメーション。	平和問題	80	人権推進多文化共生課
670	学ぼうヒロシマ (1945原爆と中国新聞)2012年5月制作ダイジェスト版)	中国新聞社制作の中学・高校生向けの被爆70年・被爆証言などを収めた平和学習DVD。内容は「記憶を受け継ぐ」、「平和をになうのは私たち」、「1945 原爆と中国新聞」の3本立て。	平和問題	76	人権推進多文化共生課
671	涙に浮かぶ記憶 ～戦争を次世代に伝えて～	この作品は、「なぜ日本は戦争を止められなかったのか」その疑問を中学生3年の女の子が、戦争体験者の曾祖父から聞き出しながら戦争への拡大の足跡を資料映像で辿っていくものです。	平和問題	28	人権推進多文化共生課
672	対馬丸 ～さようなら沖縄～	昭和19年夏、太平洋戦争が激しくなると、日本軍は本土決戦に備え、沖縄の子どもたちを学童疎開させる命令を出しました。疎開船「対馬丸」と主人公キヨンの運命は…。	平和問題	75	人権推進多文化共生課
673	ちいちゃんのかげおくり (アニメーション)	お父さんは、ちいちゃんに「かげおくり」という遊びを教えてくれた。戦争がひどくなり、ちいちゃんは、お兄ちゃんとお母さんとはぐれてしまう。みんなに会いたくて、一人かげおくりをする。	平和問題	17	総合センター
674	はとよひろしまの空を (アニメーション)	太平洋戦争末期。家族とかわいがって来た飼主の少年を原子爆弾で亡くし、一羽残された雌の小鳩。焼け野原となった町を必死で生き抜こうとした鳩の姿を通じて、改めて、命とは平和とは何かを問いかけます。	平和問題	21	人権推進多文化共生課
675	アゲハがとんだ —1945・3・10東京大空襲— (アニメーション)	この物語は、学童疎開先のどかな情景から始まります。子ども同士の争いはあったりしますが心では理解し合っており、絆が結ばれています。卒業式のために東京に戻った主人公たちは、3月10日の午前0時過ぎ、東京大空襲に見舞われます。前半の暖かい日差しの中の情景と、後半の激しい空襲シーンがコントラストとして印象的に描かれます。	平和問題	20	人権推進多文化共生課
677	トビウオのぼうやはびょうきです (アニメーション)	1954年3月1日、太平洋の中にあるビキニ島で、アメリカが水素爆弾の実験をしました。この爆発で人間が病気になるたり死んでしまう。おそろしい灰がたくさんばらまかれました。近くでマグロをとっていた「第五福竜丸」という漁船もこの灰を浴びてしまい、23人が病気になるたり山愛吉さんが亡くなりました。被害にあったのは人間だけではなくありませんでした。海の底はめちゃくちゃに壊され、たくさんのお魚たちも同じように病気になるたり死んでしまいました。"私たちは、この悲惨な出来事を絶対に忘れてはいけません"という思いを込めて、いぬいどみこさんの童話を原作にアニメ映画にしたものです。	平和問題	19	人権推進多文化共生課

678	人形アニメ ながさきの子うま (アニメーション)	昭和20年、広島にアメリカの原子爆弾が落とされた3日後の8月9日長崎。再び、原子爆弾が落とされました。犠牲になったのは、人間ばかりではありません。命ある生きもの全てが犠牲になりました。その中には、母さん馬と幼い子馬もいました。この作品は、大川悦生・著「ながさきの子うま」をもとに製作した人形アニメーションです。 [ものがたり] 昭和20年、長崎の農家で、とても元気のいい子馬が生まれました。名前を「いなさ号」といいます。夏のある日、広島にすごい爆弾が落ちて街は全滅したと、カラスが教えてくれました。沖縄もやられ日本中が戦場になるとうとしています。母馬は、爆弾の落ちてこない山にいなさ号を連れていこうと考えます。喜びはねるいなさ号。その時、まるで太陽がまるごと落ちたような光と大爆発。いなさ号は馬屋の下敷きに…	平和問題	27	総合センター
679	人形アニメ おかあちゃんごめんね (アニメーション)	昭和20年7月10日は大阪の堺市民にとって二度と忘れることのできない日となりました。アメリカ軍の空襲によって堺市ではこの日、1,860人が殺され、970人以上の人々が傷つきました。このお話は、大阪の「戦争体験を記録する会」がまとめた記録のひとつで、当時6才だった浜野絹子さんの体験を元に、早乙女勝元が平和教育の素材として一冊の本にしたものを原作に、人形アニメーションにしたものです。 [ものがたり] 大阪の古い町、堺。立き虫の絹ちゃんも体は弱くお母さんと、まだ小さな赤ちゃんも3人暮らし。7月10日夜、B29の大編隊。雨のように降ってくる爆弾。お母さんは渾身の力をふりしぼって逃げようとしては、力つきて動けません。3人で一緒に逃げようとする絹ちゃん。迫る炎の中でお母さんがとった行動とは…	平和問題	26	総合センター
680	しんちゃんのさんりんしゃ (アニメーション)	広島原爆資料館の赤さびた三輪車にまつわる実話をもとに作られた短編アニメーション。 戦争で使う武器のためにお寺の鐘も供出しなければならなかった時代です。三輪車なんて手に入らない時代でした。伸ちゃんがねだってねだってやっと手に入れた三輪車は、おじさんのおフルでした。 伸ちゃんと仲良しのみきみちゃんは、昭和20年8月6日の朝も、三輪車に乗って楽しく遊んでいました。そして選考がきらめき、原子爆弾が爆破しました。 伸ちゃんとみきみちゃんは三輪車で遊んでいるときに被爆して、死にました。 広島市内で、たくさんのお命が奪われました。 被爆50周年映画	平和問題	23	人権推進多文化共生課 総合センター
681	世界ウルルン滞在記 特別編 忘れない!戦場で傷ついた子どもたち ～ドイツ国際平和村の記録～	ドイツ国際平和村は、1967年の創立以来、世界各地で続く内戦や紛争で傷ついた子どもたちを受け入れ、治療を施し、リハビリ指導をし、母国へ帰す活動を続けてきました。これまでに世界55カ国約29000人の幼い命を救ってきています。俳優・東ちづるは、TV番組「世界ウルルン滞在記」(TBS系・毎週日曜22時~23時)のレポーターとして1999年に平和村を訪れて以降16年間、平和村の支援をライフワークとしてきました。募金とボランティアの力によって成り立っているドイツ国際平和村。番組と東ちづるの活動によって、日本と平和村の関係は深まり、これまで約17億円の寄付が集まり、228人の日本人ボランティアが訪れています。そして平和村の宿舎へと続く通りは、平和を願い「ヒロシマ通り」と名づけられ、2015年には平和の象徴として、桜が植樹されました。	平和問題	98	総合センター
682	お父さんの千羽鶴 (アニメーション) ※字幕版付き	特攻隊員として散りゆく定めにあるお父さん。無事を願って送り出す家族。最後の任務に飛び立つお父さんの操縦席には、家族の祈りが込められた千羽鶴がありました。翼の下には、家族の暮らす美しい郷土が広がっていました。それはお父さんにとって、命を賭しても守らなければならないものだったのです。 平和な時代が続く日本。しかしわずか数世代前には、愛する家族と国を守るために命を落とした多くの方がいました。その尊い犠牲の上に、現在の平和があることを忘れてはいけません。世界に目を向ければ、今も各地で戦争や紛争が起きています。平和を守り続けるためにはどうすればよいのか、次の時代を担う子供たちに今こそ考えてもらいたい。そんな願いを込めたアニメーション作品です。 原作ときたひろし「お父さんへの千羽鶴」(展転社)	平和問題	14	総合センター
703	ドキュメンタリー 「Ainu ひと」	アイヌ文化保全や伝承に取り組む北海道日高地方・平取町の古老たちを追ったドキュメンタリー。アイヌ文化が急速に衰退していくなか、カムイユカラ(口承文芸)を語り、樹皮の反物を織るなど、民族文化を色濃く引き継ぐ彼らの日常生活や地域活動などを映し出す。監督・製作・撮影・編集は、ドキュメンタリー番組や文化ビデオなど様々な映像を手がけてきた溝口尚美。	アイヌの人々の人権	90	総合センター
838	外国人労働者問題から多民族共生を考える 企業と人権シリーズ第3弾	従業員の2割が中国人という日本企業を密着取材。研修・技能実習制度を利用した人材の育成・確保の実態をドキュメントしながら、利益追求というリアルな現実のなか、どう人権問題と真剣に向き合ってきたのか、中国ロケを交えながら描きます。さらに、労働者は生活者であるという視点から、その生の声や地域の支えにも触れていく。	在日外国人等の人権	32	人権推進多文化共生課
839	ホームタウン 朴英美のまち	本名を名乗り、看護師として前向きに生きようとする在日韓国人3世の姿を通して、学校や社会で経験する様々な葛藤を描く。名前や国籍の違いを認め合い、それぞれの生き方・考え方を大切にして理解し合うことの必要性を学び、全ての人の人権が尊重される豊かな社会の実現について考える。	在日外国人等の人権	54	人権推進多文化共生課
840	外国人と人権 違いを認め、共に生きる ◎平成28年度法務省委託人権啓発教材 ※字幕・副音声付き	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるのか。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学ぶDVD。	在日外国人等の人権	33	人権推進多文化共生課
841	サラーマット ～あなたの言葉で～ ※字幕・副音声付き	外国人に関する人権問題をドラマや解説で明らかにし、多様性を認め、人が人を大切にする人権尊重の社会をつくりあげるために何ができるのか。外国人に対する偏見や差別をなくし、皆が住みよい社会を築くために私たちにどのようなことが問われているのか学ぶDVD。	在日外国人等の人権	36	人権推進多文化共生課
943	老いを生きる ※日本語字幕付き	誰もが通らなければならない老いの問題を自分のこととして捉え、日常生活の中で高齢者に対するやさしさや思いやりの心が、態度や行動に表れるような人権感覚を身につける。	高齢者の人権	35	人権推進多文化共生課
944	夢のつづき (アニメーション)	家族の中で疎外感を抱く孤独なお年寄り、認知症を患う高齢者とその介護に疲れ果てた家族、無気力な毎日を送る若者ら…世代も立場も異なる人たちが、ふれあうことによって家族のきずなを深め、生きがいを感じられるようになっていく様子を描いている。	高齢者の人権	40	人権推進多文化共生課
945	明日はわが身 ～老人介護と助け合い～	高齢社会の現代、元気な高齢者もいれば、寝たきりの高齢者もいる。今こそ若者も、子どもも手を取り合い老人介護の問題を自分自身の問題として考え、豊かな社会を築いていこう。明日はわが身かもしれないこの問題を改めて見つめ直す。	高齢者の人権	18	総合センター
946	探梅 春、遠からじ (アニメーション)	それぞれの事情や過去を抱えた登場人物の交流を描きながら、お互いが支え合い、温かく見守りあう地域社会の大切さを語りかけていく。	高齢者の人権	40	人権推進多文化共生課
947	なぜ、介護者が虐待を… 介護者支援から高齢者虐待のない社会へ	高齢者に対する虐待は、介護を担う人が精神的・肉体的に追い詰められた末に起こるケースが多いといえます。この作品は、様々な高齢者虐待の事例を再現ドラマで示すとともに、虐待防止のあり方や、悩みを抱えた介護者を支援することの大切さを訴えています。	高齢者の人権	24	総合センター
948	ここから 歩き始める ※字幕・副音声付き	「認知症を共に生きる」をテーマに、高齢者問題を人の幸せと尊厳を守るという人権の視点から捉えます。認知症の親を持つ主人公とその家族の中で繰り広げられる介護をめぐる葛藤とさまざまな紡ぎなおしを描くことで、高齢者が人間として誇りを持って生きていく上で大切なことについて、家族や地域の視点を通して考えるきっかけとなるドラマ教材。	高齢者の人権	34	人権推進多文化共生課
949	認知症と向き合う ※字幕版付き	認知症によくみられる症状や、認知症の人の思いと家族の気持ちの変化、症状の理解、介護者の交流の大切さなどを描いたドラマ教材です。認知症の人とその周囲の人、よりよく生きていけるように、認知症についての正しい知識を持ち、理解を深めることを目的に制作された作品です。	高齢者の人権	30	総合センター
950	防ごう 高齢者虐待 日常の介護から考える ※字幕版付き	高齢化の進む現代社会にとって、親や年老いた夫・妻の介護は多くの人にとって作られて通れない問題となっています。日常の介護の中で心ならずも高齢者を虐待してしまうことは誰にでも起こりうるかもしれません。老老介護や働きながら認知症の親の介護をしている事例のドラマなどから、どのような場面で虐待をしそうになるかを示すことで、虐待発生を未然に防ぐにはどうすればいいのかを考え、理解できる作品です。 ※字幕選抜可	高齢者の人権	25	総合センター

951	「やさしく」の意味 —おばあちゃんは認知症だった— ※字幕版付き	「小中学生の認知症サポーター作文コンテスト」で最優秀作品に選ばれた小学4年生の作文「やさしくということ」という作文を脚色し、ドラマにしたものです。認知症患者、その家族、そして彼らを取り巻く地域社会。一人ひとりが安心して暮らしていける工夫とは…。	高齢者の人権	33	総合センター
952	折り梅	それは、ある日突然、平和な家庭にふりかかった…。名古屋郊外のベッドタウン、愛知県豊明市。サラリーマンの夫・裕三とパート勤めの妻・巴、中学生と小学生の子ども二人の4人家族に、夫の母・マサコが同居することになった。ところがまもなく、マサコが変調をきたし始め、病院でアルツハイマー型痴呆症と診断される。パラパラになる家族、どこかある日、マサコの中に眠っていた驚くべき才能が発見される…。崩壊しかけた家族が、思いがけない展開とさまざまな葛藤を経て見事に再生してゆく物語に、人間の無限の可能性が描かれる。出演：原田美枝子、吉行和子、トミーズ雅、加藤登紀子他	高齢者の人権	111	人権推進多文化共生課
1005	めぐみ	朝鮮による日本人拉致問題啓発アニメ「めぐみ」は、昭和52年、当時中学1年生だった横田めぐみさんが、学校からの帰宅途中に北朝鮮当局により拉致された事件を題材に、残された家族の苦悩や、懸命な救出活動の模様を描いた25分のドキュメンタリー・アニメです。このアニメは、漫画「めぐみ」（原作・監修：横田滋・早紀江、作画：本そいうち、出版社：双葉社）をモチーフとして制作しました。制作に当たっては、日本俳優連合の多大なご協力をいただき、また、声優の方々もボランティアで出演してくださっています。	その他	25	人権推進多文化共生課
1006	山太郎かえる ※通常版とバリアフリー版があります	両親を失い人間に拾われたクマの山太郎は、目の前を走る蒸気機関車のC62と仲良くなり、やがて汽笛のように吠えるようになる。鎖でつながれていた山太郎は、友だちのC62に励まされ、自由への道を踏み出そうとするが…。	その他	24	総合センター
1007	第21回 川西市人権教育研究大会記念講演 「犯罪捜査・事件報道と人権」	松本サリン事件冤罪被害者の河野義行さんに「犯罪捜査・事件報道と人権」というテーマでの講演ビデオ。	その他	95	総合センター
1008	ハチ公物語	ハチ公は話すことは出来なくても心と心はしっかりと通い合っていたのです。そんな心あたたまる愛と感動の物語。	その他	18	総合センター
1009	双子の星 ※通常版とバリアフリー版があります	双子のお星様は、毎晩笛を吹くのが役目、役目が果たせないと、海に落ちてヒトデになってしまう。ある日、お星様は大きなカラスとサソリのケンカに巻き込まれてしまう。さあ無事に笛を吹く事ができるのか？	その他	26	総合センター
1010	猫の事務所 ※通常版とバリアフリー版があります	猫の第6事務所で働くかま猫は、先輩の猫たちに冷たくされ、悲しい思いをしていた。友だちの山猫も、そんなかま猫を心配している。さあ、この問題を解決する事はできるのか？	その他	22	総合センター
1011	妻のブログ - 50歳代からのライフプラン -	健康、お金、生きがいを準備しつつ定年退職を迎えることは、自分のみならず、家族のためでもある。まもなく定年の市役所職員の前川は、8年後の未来にタイムスリップ！自分の過去を知るために妻のブログをのぞき見る…。	その他	27	総合センター
1012	パワー・ハラスメント そのときあなたは…	パワー・ハラスメントの被害を受けた人たちのインタビューと事例にもとづくドラマにより、パワー・ハラスメントをわかりやすく解説している。	その他	26	人権推進多文化共生課
1013	雨ふり小僧 ※通常版とバリアフリー版があります	妖怪・雨ふり小僧との約束を忘れ、オトナになったモウ太。思い出した時は40年の月日が流れていた。身勝手な人間に、雨ふり小僧はどう答える？	その他	24	総合センター
1014	職場の日常から考えるパワーハラスメント	この作品は、ある会社で起こる様々な問題を一本のドラマで描いていますが、暴力や暴言といった従来型のパワハラは取り上げていません。むしろパワハラなのかそうでないかの、線引きが難しい事例を中心に描いています。より働きやすい職場をつくるために、働く人一人ひとりが、それぞれの立場から「職場のパワーハラスメント」をなくすためにどうすればいいか、学ぶ作品です。	その他	28	人権推進多文化共生課
1015	減らそう！セクシャルハラスメント ～職場の風土を変えよう～	ある男性社員が、自分がセクハラ加害者であると指摘されたことをきっかけに、徐々にセクハラについての認識を改めていく姿をドラマ仕立てで描かれています。「セクハラに対して、企業としてどのような意識を持ち、どう的確に処置していくべきか」を示しています。	その他	25	総合センター
1016	ハルをさがして	東京から福島へ。失ったものを取り戻す、ひと夏の冒険。3.11後のぼくたちのスタンド・バイ・ミー。震災後の福島を舞台に、ひと夏の経験を通して少年少女達の「成長」を普遍的なテーマを描く『ハルをさがして』。イケてない中学生男子3人と、クラスで一番可愛い女子が織りなす4人の旅は、ほろ苦く、そしてどこか可愛い珍道中。	その他	93	総合センター
1017	ワーク・ライフ・バランスを知っていますか？ ～働くオトコたちの声～ ◎男女共同参画局制作	ワーク・ライフ・バランスという言葉を知っていますか？それは「仕事」と「生活」を調和させるライフスタイルのこと。家庭や会社など私たちの身近なところで、すでに取り組みが始まっています。このDVDでは、ワーク・ライフ・バランス社会の実現を目指す企業や、仕事と家庭の理想的なバランスを実践する人々の姿をドキュメンタリータッチで紹介しています。	その他	50	人権推進多文化共生課
1018	配偶者からの暴力の根絶を目指して ～配偶者暴力防止法のしくみ～ ◎男女共同参画局制作	配偶者からの暴力は、犯罪となる行為をも含む重大な人権侵害です。配偶者からの暴力は、あなたの身近なところでおきています。「配偶者暴力防止法」は平成13年に制定され、平成19年7月に保護命令の拡充や市町村の取組の強化を柱とした改正法が成立し、平成20年1月の施行されました。このDVD、配偶者からの暴力の根絶を目指して、「配偶者暴力防止法」のしくみ等についてわかりやすく紹介しています。	その他	35	人権推進多文化共生課
1019	令和2年度 職員人権研修(2020/12/14) ※DVD-R	令和2年度職員人権研修録画DVD 令和2年(2020)12月14日(月)16:00～17:15 川西市役所7階大会議室	その他	60	人権推進多文化共生課
1020	「ただいま」～の声を聞くために～ Abducted by North Korea -Megumi, 13 years old-	大切に大切に育てた娘が、ある日、突然に消えてしまった。それからずっと、わが子を愛し続けて「家族のもとに返して」と叫ぶ、父と母の物語。「めぐみは北朝鮮の工作船の暗い船底に閉じ込められ「お母さん、助けてお母さん」と壁をかきむしり、絶叫し続けて、暗い船を運ばれたといまいます。」横田早紀江	その他	33	人権推進多文化共生課
1021	ハラスメントを生まないコミュニケーション グレーゾーン事例から考える	一見、コミュニケーションが良好に見える職場にも、ハラスメントの落とし穴はひそんでいます。ハラスメントを生まないために、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。様々な事例をもとに、それぞれの立場の考え方や、気づきのポイントを示し、職場でのコミュニケーションのあり方を考えていきます。	その他	25	総合センター
1022	SNSに潜む危険 書き込む内容・載せる動画	子どもたちがSNSを安全に使うためのトラブルの実例を学び、回避方法を身につける。	その他	22	総合センター
1023	日頃の言動から考える職場のハラスメント ※字幕・副音声付き 【監修】成蹊大学法学部教授 原昌登	職場において、日頃の何気ない言動がハラスメントにつながる場合があります。誰もがハラスメントの被害者にも加害者にもなり得るのです。ハラスメントを防ぐためには、どのようなことを意識すれば良いのでしょうか。職場で起こりがちなハラスメントやそのグレーゾーンについて、様々な事例をもとに考え方のポイントを解説し、ハラスメントが起こりにくい職場環境作りについて自分事として考えることができる教材です。	その他	29	人権推進多文化共生課
1024	同級生は外国人 こころを育てる映像教材集 ※字幕・副音声付き	ある日、小学4年生の直人のクラスに、日系ブラジル人のニコラスが転校してきます。日本語は苦手で、サッカーが上手なニコラスはすぐに人気者に。しかしクラスの女子の持ち物に「へんなの」といったりして、クラスで浮いた存在になってしまいます。そしてついに、クラスの友だちとけんかをしてしまい、その日を境に学校に来なくなってしまいました。そんなとき、直人が放課後、ニコラスの家に宿題を届けようとする、公園にニコラスがいて…。	その他	12	総合センター
1025	ええことするのはええもんや! (アニメーション) ※字幕版付き	「ええこと」するのって、感心されたり褒められたりするの？ 学校からの帰り道。マナブは車椅子に乗って動けなくなっているおっちゃんを押してあげることになり、道行く人に褒められ得意げになります。でも、誰にも会わなくなつてからは、「何でこんなことしてるんやろ?」という気持ちが沸き上がり……。原作の「ええことするのは、ええもんや!」は、主人公マナブの行動や心の葛藤を通して、何のために「ええこと」をするのか?ボランティアの本質について子供たちに考えるきっかけを与える優れた物語です。	その他	14	総合センター
1026	おはよう!ごみありませんか? ●こころを育てる映像教材集 (アニメーション) ※字幕・副音声付き	小学校向け道徳教材DVD(道徳・特別活動)対象:低学年向け(指導内容:勤労・公共の精神)主人公の清花は団地に住む小学2年生。ある朝いつもの様に、学校に向かうために自宅を出ると、途中で階段に座り込む二つ上の階の原田さんを見つめます。どうやらゴミ出しの途中で疲れて座ってしまったようです。お母さんの勧めもあって、高齢の原田さんに代わってゴミを出してあげることにした清花。「なんで清花ちゃんがそんなことするの?」と同じ団地に住む拓実は言いますが、困っている原田さんのためにと清花は頑張ってゴミを出し続けます。	その他	14	総合センター